

精神科領域専門研修プログラム

■ 専門研修プログラム名： 東京科学大学精神科専門研修プログラム

■ プログラム担当者氏名： 高木 俊輔

住 所： 〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話番号： 03- 3813 - 6111

F A X： 03 - 5803 - 0135

E - m a i l： takagi.s.659d@m.isct.ac.jp

■ 専攻医の募集人数：(20) 人

■ 応募方法：

履歴書を下記宛先に送付する。

宛先：〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

東京科学大学病院精神科 高木 俊輔

Tel：03-3813-6111

Fax：03-5803-0135

担当者：高木 俊輔（卒後研修実務者）

■ 採用判定方法：

大学スタッフによる面接結果を基に採用の適否を判断する。

I 専門研修の理念と使命

1. 専門研修プログラムの理念（全プログラム共通項目）

精神科領域専門医制度は、精神医学および精神科医療の進歩に応じて、精神科医の態度・技能・知識を高め、すぐれた精神科専門医を育成し、生涯にわたる相互研鑽を図ることにより精神科医療、精神保健の向上と社会福祉に貢献し、もって国民の信頼にこたえることを理念とする。

2. 使命（全プログラム共通項目）

患者の人権を尊重し、精神・身体・社会・倫理の各面を総合的に考慮して診断・治療する態度を涵養し、近接領域の診療科や医療スタッフと協力して、国民に良質で安全で安心できる精神医療を提供することを使命とする。

3. 専門研修プログラムの特徴

東京科学大学精神科(旧東京医科歯科大学)は、昭和 19 年 5 月に初代教授島崎敏樹先生が東京医学歯学専門学校時代の本学に精神病学教室を開設した時に始まる。400 人を超える同窓は、主に首都圏の総合病院、精神科病院、診療所、研究機関において幅広い領域で活躍しており、臨床、研究、教育の分野で数多くの実績を残している。

基幹病院となる東京科学大学病院精神科は、41 床の開放病棟であり、急性期の精神病状態の患者の対応は限定されるものの、十分な指導体制のもとに、生理学的検査・心理検査実施による診断や治療に対する詳細な検討、電気けいれん療法、身体合併症診療、リエゾン診療、デイケア活動や小集団精神療法への参加などの全般的な研修が可能である。また、司法精神医学、児童精神医学、老年精神医学に関しては、専門の研修体制を整備しており、全般的な研修に加えて、柔軟に取り入れることができる。

また、連携施設には、首都圏の総合病院を中心に、民間の精神科病院も複数擁している。それぞれ特色のある病院であり、希望に応じて柔軟な研修体制を選択することが出来ることこそ、本学精神科専門研修プログラムの特色である。

II. 専門研修施設群と研修プログラム

1. プログラム全体の指導医数・症例数

- プログラム全体の指導医数： 273 人
- 昨年一年間のプログラム施設全体の症例数

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	11380	3586
F1	5878	1882
F2	30133	10112
F3	30902	4921
F4 F50	17891	1774
F4 F7 F8 F9 F50	7565	1741
F6	3279	495
その他	9773	1087

2. 連携施設名と各施設の特徴

A 研修基幹施設

- ・施設名：東京科学大学病院
- ・施設形態：公的総合病院
- ・院長名：藤井 靖久
- ・プログラム統括責任者氏名：高橋 英彦
- ・指導責任者氏名：高橋 英彦
- ・指導医人数：(14) 人
- ・指導医一覧：

氏名	ふりがな	役職	勤務形態	備考
高橋 英彦	タカハシ ヒデヒコ	教授	常勤	
岡田 幸之	オカダ タカユキ	教授	常勤	
杉原 玄一	スギハラ ゲンイチ	准教授	常勤	
竹内 崇	タケウチ タカシ	准教授	常勤	
治徳 大介	ジトク ダイスケ	准教授	常勤	
塩飽 裕紀	シワク ヒロキ	准教授	常勤	
高木 俊輔	タカギ シュンスケ	講師	常勤	
藤野 純也	フジノ ジュンヤ	講師	常勤	
宮島 美穂	ミヤジマ ミホ	准教授	常勤	
佐々木 祥乃	ササキ ヨシノリ	助教	常勤	
田村 赳紘	タムラ タケヒロ	助教	常勤	
丸尾 享司	マルオ タカシ	助教	常勤	
小林 七彩	コバヤシ ナナセ	助教	常勤	
中村 啓信	ナカムラ ヒロノブ	助教	常勤	

- ・精神科病床数：(41) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	356	15
F1	52	2
F2	354	51

F3	907	203
F4 F50	747	46
F4 F7 F8 F9 F50	452	10
F6	124	3
その他	204	12

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

東京科学大学病院精神科は、41床の開放病棟であり、急性期の精神病状態の患者の対応は限定されるものの、十分な指導體制のもとに、生理学的検査・心理検査実施による診断や治療に対する詳細な検討、電気けいれん療法、身体合併症診療、リエゾン診療、デイケア活動や小集団精神療法への参加などの全般的な研修が可能である。また、司法精神医学、児童精神医学、老年精神医学に関しては、専門の研修体制を整備しており、全般的な研修に加えて、柔軟に取り入れることができる。

B 研修連携施設

1. 施設名：市立青梅総合医療センター

- ・施設形態：公的総合病院
- ・院長名：大友 健一郎
- ・指導責任者氏名：岡崎 光俊
- ・指導医人数：(3) 人
- ・精神科病床数：(50) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	136	24
F1	24	9
F2	216	54
F3	384	46
F4 F50	216	15
F4 F7 F8 F9 F50	44	9
F6	44	8
その他	60	1

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

市立青梅総合医療センターは、西多摩地域唯一の救命救急センターをもつ総合病院であり、都内のみならず隣接する埼玉県や山梨県からの患者も受け入れている。三次救急を行っているため、飛び降り、飛び込み、急性薬物中毒などの自殺未遂患者を身体治療と同時並行で診療する機会が多い。また、西多摩医療圏には精神病院が多く、特に青梅市は精神病床を約2500床有する。同院精神科は総合病院内における病床を有する精神科として、近隣精神病院入院中もしくは、外来通院中の患者における身体合併症を積極的に受け入れている。院内他科からのリエゾン・コンサルテーションも多く、他科との連携は非常にとりやすい。癌拠点病院でもあり、緩和ケアチームとの連携も多く経験できる。近隣に精神科クリニックが少ないため、外来は患者数が多く、多種多様な患者を継続してみることができる。地域では高齢化が進み認知症が急増しているが、これに対応する物忘れ外来を行い他院通院中の患者の認知機能精査、周辺症状への対応などの依頼も受けている。このように地域に根差した特徴的な総合病院精神科医療を研修することが出来ると思われる。

2. 施設名：大宮厚生病院

- ・施設形態：民間病院
- ・院長名：将田 耕作
- ・指導責任者氏名：将田 耕作
- ・指導医人数：（ 5 ）人
- ・精神科病床数：（ 281 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	57	26
F1	19	11
F2	1815	263
F3	1332	212
F4 F50	276	42
F4 F7 F8 F9 F50	185	58
F6	48	14
その他	511	2

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

精神科専門医研修施設、卒後臨床研修病院、東京科学大学の臨床実習病院としてこの地域における精神医学教育・研修の主要な役割を担ってきた。また、この地域では古くから精神科臨床の中核として、充実した精神医療の体制を整えている。精神科医療全般にわたる幅広い知識や技能を習得するための施設として、精神科救急病棟では、統合失調症、躁病を中心に、急性期（ストレスケア）病棟では、気分障害（うつ病、躁うつ病）、神経症性障害、パーソナリティ障害、摂食障害、種々の認知症、器質精神障害、てんかんなどを診療し、亜急性期病棟、自立支援病棟では慢性の統合失調症を中心に診療する。また種々の疾患について訪問診療・看護、デイケア、リワークプログラムなどを行い、社会復帰に関する診療・支援体制も充実している。

3. 施設名：明柳会 恩田第二病院

- ・施設形態：医療法人
- ・院長名：恩田 優子
- ・指導責任者氏名：佐々木 将博
- ・指導医人数：(3) 人
- ・精神科病床数：(308) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	2	1
F1	1	1
F2	199	70
F3	100	7
F4 F50	148	0
F4 F7 F8 F9 F50	49	1
F6	0	0
その他	0	1

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当法人はグループホームである恩田レジデンス（男性10名、女性10名）および精神科単科病院である恩田第二病院を併せもつ。グループホームである恩田レジデンスは、最終的な施設ではなく、あくまでも社会復帰を目指した中間施設であり、障がい者の回復の過程に深く関わることができる。ピアスタッフが2名在籍しており、厚生労働省が推進する地域包括ケアシステムの多職種チームを体験することもできる。恩田第二病院は千葉県東葛北部地区の基幹病院として精神科救急病を行っているのみならず、地域の患者を地域で支えるアウトリーチ活動（AOT；assertive outreach treatment）も行っているのが特徴である。ACTが単科精神科病院に長期入院していた患者を地域に移行する支援プログラムであるが、AOTは地域で生活している患者が事例化した場合に、課題の解決を入院という形に頼らないで解決することを目指す。2016年8月に全病棟が新しく建て替わり、精神科救急入院料病棟（スーパー救急に対応できる病棟）ができた。したがって、地域医療から急性期治療まで、統合失調症圏（F2）、気分障害（F3）、症状性・器質性精

神障害（F0）、精神作用物質使用障害（F1）を中心に幅広い年代にわたる精神疾患の患者を経験することができる。

4. 施設名：栗田病院

- ・施設形態：民間病院
- ・院長名：竹林 裕直
- ・指導責任者氏名：竹林 裕直
- ・指導医人数：(4) 人
- ・精神科病床数：(200) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	4	0
F1	16	5
F2	600	263
F3	140	15
F4 F50	92	0
F7 F8 F9	0	0
F6	2	0
その他	51	1

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は歴史ある民間の精神科単科病院であり、入院患者は主に統合失調症である。全閉鎖病棟であり初発例や再発例の急性期から慢性・長期入院患者まで広く治療経験を積むことができる。また措置入院、隔離を含む行動制限や社会資源、社会復帰過程について経験・学習することができる。さらに精神科デイケア、訪問看護、往診を行っており、地域医療（保健所、グループホーム等）について学ぶことができる。

5. 施設名：国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院

- ・施設形態：国立高度専門医療研究センター（ナショナルセンター）
- ・院長名：戸田達史
- ・指導責任者氏名：野田隆政
- ・指導医人数：（ 18 ）人
- ・精神科病床数：（ 191 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	410	55
F1	290	61
F2	1402	285
F3	1701	225
F4 F50	1555	138
F7 F8 F9	700	77
F6	138	14
その他		18

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

国立精神・神経医療研究センター（NCNP）病院（一般精神が閉鎖病棟 82 床、開放病棟 41 床の計 123 床、心神喪失者等医療観察法 68 床、計 191 床）は精神疾患、神経疾患、筋疾患及び知的障害その他の発達の障害に特化した国立高度専門医療研究センターの一つである。気分障害、統合失調症、認知症、依存症、てんかん、睡眠障害、反復経頭蓋磁気刺激（rTMS）、電気けいれん療法（ECT）の専門外来があり専門家による高度な指導を受けながら貴重な症例を経験できる。治療はクロザピンを含む薬物療法、認知行動療法、集団精神療法、作業療法、rTMS、ECT などを中心に多職種チーム医療を提供している。院内には脳波（長時間ビデオモニタリング、睡眠ポリソムノグラフィーを含む）・CT・MRI・核医学検査（SPECT, PET）・光トポグラフィー・脳磁図など高度医療機器が整備され、これらを用いて診断を行うとともに、読影について学習できる。また、NCNP 病院は全国で初めて医療観察法病棟を設置し、唯一身体合併症に対応した病床を有している。医療観察法病棟では長期的な視点に立った多職種チームによる専門治療を学び、司法精神医学を専門とすることを希望する者は本研修コース終了後専門領域に進むことができる。院内には脳神経内科、総合内科、脳神経外科、小児神経科、外

科、循環器内科、消化器内科、整形外科があり、身体合併症患者にも対応しており、他科の治療を受けている患者の精神症状に対するリエゾン・コンサルテーションも習得できる。病棟カンファレンス、症例検討会、文献抄読会に参加し、症例への理解を深めるとともに、治療関係を含めた精神療法的関与、薬物治療等について学習する。認知行動療法に関しては積極的に実践・教育を行っており、センター内の認知行動療法センタースタッフによる講義、スーパービジョンを受けることができる。集団精神療法、作業療法、デイケア、訪問看護、就労支援、復職支援プログラム等により、多職種医療連携、精神科リハビリテーションなどの技術を習得する。併設されている研究所と協同での臨床研究が数多く行われており、臨床研究に関するセミナーを受講し、上級医の指導のもと研究協力者として参加し、学会発表、論文発表を行うことができる。センター内で実施されている臨床研究に指導のもと研究協力者として参加することも可能である。

6. 施設名：三楽病院

- ・施設形態：公的総合病院
- ・院長名：和田 友則
- ・指導責任者氏名：真金 薫子
- ・指導医人数：(2) 人
- ・精神科病床数：(0) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	118	0
F1	16	0
F2	236	3
F3	711	13
F4 F50	913	3
F4 F7 F8 F9 F50	73	0
F6	23	0
その他	14	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、東京都公立学校教職員の職域病院として設立された経緯を持ち、精神神経科でも教職員をはじめとする勤労者の受診が多い。このため、疾患では感情障害と適応障害や不安障害などの神経症圏が多く、診療場面では職場および家庭との連携のもとに休復職の判断や職場環境調整に関わる頻度が比較的高い。また、東京都教育委員会の委託により「医療機関における職場復帰訓練」というリワークデイケア的取り組みを行っており、スタッフとして参加することが可能である。以上のように、精神疾患を有する勤労者の治療、リハビリ、再発予防までの取り組みに、主治医としての立場から深く関わる経験を数多く積むことができ、疾病としての回復を目指すにとどまらず、多面的な視座から患者の回復を支援する姿勢を培えることが、当科の大きな特徴である。また、MRI および CT による画像診断、脳波、各種心理検査による診断や治療の検討、電気けいれん療法やリエゾン診療なども経験できる。

7. 施設名：高月病院

- ・施設形態：民間病院
- ・院長名：長瀬 輝誼
- ・指導責任者氏名：長瀬 輝誼
- ・指導医人数：(5) 人
- ・精神科病床数：(516) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	23	142
F1	83	80
F2	332	500
F3	178	100
F4 F50	129	22
F4 F7 F8 F9 F50	223	38
F6	15	5
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院では「人の持つ自然治癒力を大切にした精神科医療」を理念とし、患者様やご家族に対しては、個性を尊重し確かで安心納得のできる医療を提供することを目標としている。緑豊かな自然環境に恵まれた東京都八王子市郊外に位置し、約2万坪の広い敷地の中に9病棟（516床）を有している。精神療養病棟、認知症病棟、アルコール対応病棟、急性期対応病棟があり、患者様の症状に応じて対応できるようになっている。グラウンド、農園、体育館なども整備しており、作業療法としてこれらの施設も利用しリハビリテーションのプログラムも用意している。急性期対応病棟を中心に入院を受け入れ年間患者数は約300人程度となっており、精神保健福祉法指定病床（10床）応急入院指定病床（1床）もある。昭島市及び杉並区荻窪にサテライトクリニックもあり、地域における外来診療も行っている。

8. 施設名：医療法人財団厚生協会 東京足立病院

- ・施設形態：私立 単科精神病院
- ・院長名：内山 真
- ・指導責任者氏名：内山 真
- ・指導医人数：(8) 人
- ・精神科病床数：(375) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	146	73
F1	506	198
F2	1414	456
F3	1012	124
F4 F50	676	25
F4 F7 F8 F9 F50	88	14
F6	31	8
その他	113	3

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は昭和 33 年に創設され、足立区北部の埼玉県境に隣接した立地である。医療圏域としては、足立区・荒川区・葛飾区という東京都の区東北部に属し、区や東京都、さらには埼玉県などの行政とも広く連携して地域精神医療を担うことを最大の責務としている。病床数は 377 床で、精神科の救急・急性期を担う治療病棟、回復期治療や地域移行を役割とする療養病棟、アルコール依存・ストレスケア・認知症を対象とした専門病棟など、機能別に分化した 7 つの病棟を有している。外来では、大規模 3 単位と都内有数の規模を誇るデイケアや作業療法センター、うつ病のためのリワークプログラム、精神科病院では希少な身体リハビリテーションなど、リハビリ部門を充実させている。また地域包括ケア重視の観点から訪問看護や訪問診療などの訪問型精神医療を展開して地域での安定した生活を行えるよう支援している。同一敷地内には老人保健施設や高齢者介護の諸部門も併設されており、近接して共同生活援助事業所（グループホーム）や就労移行支援 B 型事業所（レストラン・定食屋）、地域活動支援センターを運営し、特定相談支援事業も担っている。この他に竹ノ塚と北千住に 3 つのサテライトクリニックを設けている。

9. 施設名：東京都健康長寿医療センター

- ・施設形態：公的総合病院
- ・院長名：許 俊鋭
- ・指導責任者氏名：古田 光
- ・指導医人数：(3) 人
- ・精神科病床数：(30) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	792	186
F1	16	3
F2	87	29
F3	240	113
F4 F50	130	1
F4 F7 F8 F9 F50	0	0
F6	0	0
その他	28	0

・施設としての特徴

当院は主に高齢者を対象とした急性期総合病院であり、精神疾患の中でも認知症およびせん妄を中心とした器質性精神障害、老年期うつ病、老年期精神病性障害、心気障害や身体表現性障害等の高齢者の精神疾患を十分に経験することができる。画像検査、整理検査等の検査機器も最先端の物が揃う。神経内科等とともに運営しているもの忘れ外来は上記統計とは別に年間約名の患者の認知症診断を行っている。他診療科との連携は密であり、また、認知症疾患医療センター専門相談室・精神科リエゾンチーム・緩和ケアチーム・栄養サポートチームなどを通して、総合病院ならではの多様なコメディカルスタッフとの連携を経験できる。行政と協力したアウトリーチ事業や相談活動の経験も可能である。また、併設する研究所との連携で、高度な臨床研究を行うことも可能である。

10. 施設名：東京都保健医療公社荏原病院

- ・施設形態：公的総合病院
- ・院長名：黒井 克昌
- ・指導責任者氏名：成島 健二
- ・指導医人数：(5) 人
- ・精神科病床数：(30) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	270	60
F1	25	5
F2	630	140
F3	315	70
F4 F50	135	30
F4 F7 F8 F9 F50	15	4
F6	20	5
その他 G47	120	40

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴）

総合病院における精神科として、外来、デイケアおよび開放病棟での入院による治療を行っている。患者が地域で生活しながら継続した治療を受けやすいように配慮されている。統合失調症、感情障害、不安障害などをはじめ精神障害全般を対象とし、認知症等の脳器質性疾患にも対応しているが、パーソナリティ障害、アルコール・薬物依存など、専門性の高い分野については他の専門機関への紹介をすることもある。入院は平均在院日数約 24 日間と短期間での集約的な治療を行う。身体疾患合併症例への対応やリエゾン・コンサルテーション等を積極的に行い、総合病院の中の精神科としての機能を最大限に活用している。専門外来としては、もの忘れ（認知症）外来、マターナルメンタル外来、大人の発達障害外来、クロザピン外来、ポストストローク外来などを設置し、多様なニーズに答えている。

11. 施設名：公益財団法人東京都保健医療公社豊島病院

- ・施設形態：公的病院
- ・院長名：畑明宏
- ・指導責任者氏名：奥村正紀
- ・指導医人数：（ 3 ）人
- ・精神科病床数：（ 32 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	191	28
F1	32	29
F2	295	180
F3	717	86
F4 F50	351	38
F4 F7 F8 F9 F50	43	13
F6	17	13
その他	0	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴）

豊島病院精神科は閉鎖病棟で、「精神科救急入院料病棟」の規格を満たす 28 床の一般床と 4 床の隔離室から構成される。隔離室のうち 2 床は、COVID-19 感染拡大に伴い万全の感染対策がとれるように陰圧仕様となっている。地域精神医療、精神科救急医療、精神科身体合併症医療を中心に診療にあたっている。統合失調症圏（F2）、気分障害（F3）、症状性・器質性精神障害（F0）、精神作用物質使用障害（F1）を中心に幅広い年代にわたる精神疾患の診断・治療を経験できる。院内では、リエゾンコンサルテーションチーム活動を通してせん妄等への対応や、精神疾患患者の身体合併症、精神疾患合併妊娠の診療について、身体診療科との緊密な連携と治療的対応を学ぶことができる。mECT も積極的に施行されており、適応診断と評価、実施方法等について習得することができる。クロザピンも今年度内に導入予定である。このような診療のなかで、入院・リエゾン症例に関する定例の病棟カンファレンス、抄読会、症例検討会、テーマ毎のクルズスを通して、症例に関する理解を深め、治療関係を含めた精神療法的関与、薬物・身体療法等について学習、習得を図る。また、コメディカルと協働した治療を通してチーム医療の実践を体得する。臨床心理士とともに入院患者に対する集団精神療法、心理教育の実際を経験

し、各種心理検査の意義と評価について習得する。PSW と協同して地域生活支援に必要な精神保健福祉リソース利用の実際について経験を積む。さらに、指導医のもとで臨床研究の実際について学び、研究会や学会での発表、論文発表を行う。

12. 施設名：東京都立小児総合医療センター

- ・施設形態：公的病院
- ・院長名：廣部 誠一
- ・指導責任者氏名：長沢 崇
- ・指導医人数：(4) 人
- ・精神科病床数：(202) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	0	3
F1	0	0
F2	23	22
F3	31	17
F4 F50	272	100
F4 F7 F8 F9 F50	752	372
F6	2	0
その他	10	4

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

東京都立小児総合医療センター児童・思春期精神科は、自閉症スペクトラム障害や注意欠如多動性障害(ADHD)などの発達障害、うつ病などの気分障害、統合失調症、強迫性障害、摂食障害など児童・思春期のあらゆる精神疾患を対象としている。精神科病棟は202床の病床を有し、性別や年齢等に応じて7つの病棟に分かれている。その内訳は、男女思春期急性期病棟、男子思春期病棟、女子思春期病棟(2病棟)、男女思春期病棟、自閉症病棟、学童病棟である。カンファレンスや症例検討会、研究会を通じて、児童・思春期精神疾患について専門的な知識と経験を得ることが可能である。

13. 施設名：東京都立多摩総合医療センター

- ・施設形態：公的総合病院
- ・院長名：榎山 鉄矢
- ・指導責任者氏名：岩田 健
- ・指導医人数：(4)
- ・精神科病床数：(34) 床
- ・疾患別入院数・外来数

疾患	外来患者数 (年間)	入院患者数 (年間)
F0	137	17
F1	29	24
F2	299	267
F3	331	112
F4 F50	764	26
F4 F7 F8 F9 F50	49	39
F6	20	32
その他	0	0

・施設としての特徴

多摩総合医療センターは、多摩地域唯一の都立総合病院である。32科756床からなる当センターは、ほぼ全ての診療領域を網羅しているが、救急医療には特に力を入れている。精神神経科も例外ではなく、多摩地域の精神科救急の基幹病院として、夜間・休日の緊急医療（いわゆる三次救急）の主要な役割を担っている。さらに、総合病院における有床精神科であるため、東京都の精神科身体合併症事業においても中心的な役割を果たしている。精神科救急と身体合併症を二つの軸である。専攻医は総合病院ならではの豊富な医療資源を生かして各種検査を行い、薬物療法、精神療法などを柔軟に組み合わせて最善の治療を行うプロセスを体験することができる。診療は、医師のみならず、看護師、心理士、精神保健福祉士等とのチーム医療が基本となっている。精神科合併症妊娠患者の診療において産婦人科と合同カンファレンスを開いたり、地域の保健師と協働をしたりする。緩和ケアチームに参加することもできる。②東京都立小児総合医療センター児童・思春期精神科 日本で有数の小児専門の精神科である。診療においては医師、看護師の他、心理士、保育士、社会福祉士および院内学級の教師が有機的に結び付いたチーム医療を行っている。幼児、学童、思春期デイケアが充実しており、リエゾン医療、虐待症例にも力を入れている。児童・思春期のあらゆる精神疾患を対象とするが、高度に専門化された医療であるため、専攻医は精神科臨床の基礎を身に付けた上で研修に臨むことになる。

14. 施設名：東京都立広尾病院

- ・施設形態：公的病院
- ・院長名：田尻 康人
- ・指導責任者氏名：中野谷 貴子
- ・指導医人数：(3) 人
- ・精神科病床数：(30) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	109	68
F1	14	9
F2	47	29
F3	48	30
F4 F50	148	92
F7 F8 F9	24	15
F6	8	5
その他	14	9

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は都心に位置する公的総合病院で、院内には約 27 の診療科があり、全病床数 426 床うち神経科は 30 床で半開放病棟である。当院の特色としては救急医療、災害医療、島嶼医療、外国人医療、循環器医療、脳血管性疾患医療などに力を入れている。

神経科の特色としては、精神神経学会専門研修プログラム基幹病院の連携施設として機能しており、専門医取得や精神保健指定医取得に向けての指導を行っている。日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学研修施設、日本総合病院精神医学会 ECT 研修施設にも認定されている。神経科病棟での研修だけではなく、院内他科入院中で精神症状のある方の往診も行っている。

当科で研修可能な症例としては、統合失調症、気分障害（うつ病、双極性障害）、神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害、症状性・器質性精神障害などで、症例数は少ないものの、児童・思春期精神障害、物質使用障害、摂食障害、パーソナリティ障害なども経験することができる。修正型電気けいれん療法も月曜日から金曜日の午前中に行っている。

病棟では 2 チームに分かれて診療にあたっており、対応に困ったときは指導医や上級医に相談できる体制にある。毎週月曜日に医師・看護師・心理士・薬剤師・栄養士・PSW を含めた多職種カンファレンスを行っている。

15. 施設名：東京都立墨東病院

- ・ 施設形態：公的病院
- ・ 院長名：足立 健介
- ・ 指導責任者氏名：三上 智子
- ・ 指導医人数：3名
- ・ 指導医一覧

氏名	ふりがな	役職	勤務形態	備考
三上 智子	みかみ ともこ	部長	常勤	
佐々木 健至	ささき たけし	医長	常勤	
源田 圭子	げんだ けいこ	医長	常勤	

- ・ 精神科病床数：36床
- ・

【 疾患別入院数・外来数（年間） 】

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	83	28
F1	28	21
F2	110	96
F3	115	41
F4, F50	111	17
F4, F7, F8, F9, F50	44	19
F6	11	13
その他（G40）	18	3

【 施設としての特徴 】

都立墨東病院は、人口約150万人弱を抱える区東部医療圏（墨田区・江東区・江戸川区）における病床数765の中核的総合病院であり、救急医療、周産期医療、感染症医療、がん医療を含むあらゆる診療機能が求められてきた。神経科(精神科)は36床の閉鎖病棟で、内保護室数6床、個室数6床であり、精神運動興奮の激しいケースから休養目的のケースまで幅広い精神疾患の入院加療に対応できる設備が整っている。

当科では、以下の4つの業務を主体として精神科診療を行なっている。(1)急性期を中心としたケースに対して検査、治療、リハビリテーションを経て地域生活に繋げる一般的な精神科医療 (2)東京都「夜間休日精神科救急事業」による緊急措置入院患者の診療を中心とした精神科救急医療 (3)救命センターや周産期センター及び院内の他診療科からの依頼に即応するリエゾン精神医療 (4)東京都

の精神科身体合併症システムの一翼担い、地域の医療機関の依頼に応じて患者を受け入れる精神科身体合併症医療

都立病院である当院の研修プログラムは同時に東京都医師アカデミーのシステムに基づいており、基幹病院の墨東病院神経科での研修を中心とし、他の複数の公立病院や民間精神科病院と連携することでバランスのとれたものとなっている。

- 併施設設等 精神科デイケア

16. 施設名：東京都立松沢病院

- ・施設形態：公的病院
- ・院長名：水野 雅文
- ・指導責任者氏名：正木 秀和
- ・指導医人数：（ 21 ）人
- ・精神科病床数：（ 800 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	563	517
F1	784	356
F2	3021	1282
F3	1135	361
F4 F50	724	200
F4 F7 F8 F9 F50	1366	431
F6	208	66
その他	1125	91

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は東京都世田谷区に位置し、東京都の行政精神科医療等で中核的な役割を担っている精神科病院である。800床の精神科病床を有し、精神科医が約40名在籍している。内科、神経内科、外科、整形外科、脳神経外科の身体合併症入院病床も有し、身体科の医師は約25名在籍する。精神科救急医療、急性期医療、身体合併症医療、社会復帰・リハビリテーション医療、青年期医療、認知症医療、アルコール・薬物医療、医療観察法病棟の他、デイケア、精神科作業療法等を行っている。精神科領域のほとんどの疾患を経験することができ、措置入院や医療観察法入院を含め、すべての入院形態の症例を扱っている。

17. 施設名：成増厚生病院

- ・ 施設形態：民間病院
- ・ 院長名：中村 満
- ・ 指導責任者氏名：中村 満
- ・ 指導医一覧

会員番号	氏名	ふりがな	役職	勤務形態	1週間の勤務時間 (非常勤の場合)
08259	中村 満	なかむら みつる	院長	常勤	
07759	垣渕 洋一	かきぶち よういち	副院長	常勤	
18212	関根 俊輔	せきね しゅんすけ	副院長	常勤	
17243	天神 雄也	てんじん ゆうや	副院長	常勤	
16556	福田 真道	ふくだ まさみち	病棟医 長	常勤	
21389	大野 浩太郎	おおの こうたろう	病棟医 長	常勤	
09463	森野 百合子	もりの ゆりこ	病棟医 長	常勤	
21427	佐々木 博敏	ささき ひろとし	病棟医 長	常勤	
21011	川田 隆裕	かわた たかひろ	副医局 長	常勤	
15665	富永 卓男	とみなが たくお		常勤	
15009	澤谷 篤	さわや あつし		常勤	
19266	吉田 典子	よしだ のりこ		常勤	
21440	渡邊 敬文	わたなべ たかふみ		常勤	
23857	横木 達明	よこぎ たつあき		常勤	
19744	山崎 悠子	やまざき ゆうこ		非常勤	12H
18617	齊藤 聖	さいとう きよし		非常勤	24H

- ・ 指導医人数：14名
- ・ 精神科病床数：436床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数	入院患者数
F 0	42	69
F 1	196	228
F 2	311	229
F 3	444	217
F 4 F 5 0	222	29
F 4 F 7 F 8 F 9 F 5 0	231	42
F 6	4	15
その他	286	39

・施設としての特徴

都市型の民間精神科病院であり、精神科スーパー救急病棟に加えてアルコール治療病棟・児童思春期病棟などを有している。精神科の急性期治療を全般的に行っており、思春期から老年期まで多岐にわたる症例を数多く経験することができる。精神保健福祉士が 365 日 24 時間専従で、身体科救急から精神科救急への相談や要請に対応する「区西北部精神科情報センター」を病院内に開設しており、東京都区西北部における精神科救急の中心的役割を担っている。内科病棟も併設し内科医が常勤しているので、身体的な合併症の管理が必要な症例も内科医指導の下で多く経験することができる。また急性期入院病棟における治療だけでなく社会復帰病棟からの地域移行支援も積極的に行い、在宅移行後も地域支援室が中心となり患者の治療やケア、生活のサポートを行っている。最近の試みとしては早期予防の目的も兼ね、アルコール依存症患者の子供へのサポートも行っている。救急・急性期から回復期治療、さらには予防や早期介入まで幅広く精神科医療を学ぶことができる病院である。

・併設施設等

精神科救急情報センター、グループホーム、生活訓練施設

18. 施設名：針生ヶ丘病院

- ・施設形態：民間病院
- ・院長名：金森 良
- ・指導責任者氏名：金森 良
- ・指導医人数：(4) 人
- ・精神科病床数：(407) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	54	96
F1	0	20
F2	14	325
F3	34	92
F4 F50	28	22
F4 F7 F8 F9 F50	17	3
F6	1	6
その他	15	35

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

針生ヶ丘病院は、単科精神科病院で、精神科急性期治療病棟を有するので、統合失調症・躁病・気分障害・認知症など主要な精神疾患の患者を受け持ち、面接、診断、治療計画、精神療法、薬物療法の基本を学ぶことができる。急性期、措置入院、思春期の患者の担当医となり、精神保健指定医や専門医資格取得に必要な症例の研修ができる。認知症治療病棟および郡山市認知症初期集中支援チームを有するので認知症について専門的な研修が可能である。発達障害児（特に小児自閉症）と家族の成育支援を実施している成育支援室において、発達障害児の診断、療育の指導を受けることができる。また、近隣の総合病院で精神科リエゾンを経験できる。

19. 施設名：横浜市立みなと赤十字病院

- ・施設形態：公設民営病院
- ・院長名：大川 淳
- ・指導責任者氏名：京野 穂集
- ・指導医人数：(3) 人
- ・精神科病床数：(50) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	48	27
F1	3	6
F2	60	60
F3	51	39
F4 F50	60	30
F4 F7 F8 F9 F50	3	3
F6	6	3
その他	10	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

横浜市立みなと赤十字病院は、公設民営（横浜市が設立、日本赤十字社が運営）の病院としてH17年に開院した。当院は、634床 35診療科からなる総合病院で、精神科は、50床の全閉鎖病棟を持ち、神奈川県精神科基幹病院の1つとして、4縣市（神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市）の政策医療である精神科救急・身体合併症転院事業に従事している。

入院患者の8割以上は非自発的入院で、統合失調症やうつ病、双極性感情障害が多い。症例は豊富で、総合病院の精神科であるが、急性期かつ重症例を経験することができる。精神保健指定医や専門医取得に必要な症例のうち、児童思春期以外については数年の研修で揃えることが可能である。

身体合併症転院事業では、身体科医師の十分な協力を得て、神奈川県内の行政を介した転院症例の70%程度を受け入れ、神奈川県の中で中心的な役割を担っている。

当院は、急性期・重症例の精神疾患を上級医師の十分な指導体制のもとに、チーム医療の中で学べるのが特徴である

20. 施設名：埼玉県済生会鴻巣病院

- ・ 施設形態： 公的病院
- ・ 院長名：関 紳一
- ・ 指導責任者氏名：関 紳一
- ・
- ・ 指導医一覧

会員番号	氏名	ふりがな	役職	勤務形態	1週間の勤務時間 (非常勤の場合)
01803	関 紳一	せき いんいち	院長	常勤	
02200	蓮江 郁夫	はすえ いくお	名誉院長	常勤	
18700	小田部 浩幸	おたべ ひろゆき	病棟医 長	常勤	
20136	池本 楽	いけもと がく	病棟医 長	常勤	
21600	高山 敏樹	たかやま としき	病棟医 長	常勤	

- ・ 指導医人数：5名
- ・ 精神科病床数：379床

・ 疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数	入院患者数
F 0	399	99
F 1	143	61
F 2	1063	195
F 3	603	105
F 4 F 5 0	258	24
F 4 F 7 F 8 F 9 F 5 0	414	45
F 6	15	6
その他	105	6

・施設としての特徴

埼玉県済生会鴻巣病院は、済生会で唯一の単科精神科病院であるが、公的病院として県央保健医療圏において精神科医療の中核を担っている。病棟は、精神科救急診療病棟を2病棟（48床・41床）、依存症病棟（41床）、認知症疾患治療病棟（48床）、多用途全個室病棟（33床）、精神科療養病棟を2病棟（55床・55床）、精神科一般病棟（57床）の計379床で、外来は一般精神科外来から専門外来まで幅広く行っている。併せて、認知症疾患医療センターなど各々の関連施設を併設している。疾患としては、特に認知症や症状性を含む器質性精神障害（F0）、精神作用物質使用による精神および行動の障害（F1）、統合失調症（F2）、気分障害（F3）が症例豊富である。急性期を中心に重度かつ慢性の精神疾患患者、様々な理由により地域での治療が困難な症例、年代的には思春期から高齢者（とくに認知症）、自発/非自発的な入院症例に関しても措置入院から任意入院・医療観察法（鑑定入院、通院指定）・刑事司法等の関連症例、地域医療から専門医療まで精神科医療全般について経験できる。治療は多職種チーム医療が基本であり、入院初期から退院後の生活を見据え濃厚な対応（多職種による評価・検討、地域関係機関との連携等）を行い、早期の社会復帰を目指すよう精神科救急診療病棟を運営している。また、司法的な問題の絡んだ症例、たとえば薬物乱用の問題があり、不法滞在ということが重なっている場合に、済生会としてのセーフティネットとしての機能で、無料低額診療を行う。ストーカー加害者への相談治療も行っている。精神鑑定に関しても複数名が鑑定に関わっている。

併設施設等

なでしこメンタルクリニック，訪問看護ステーション，グループホーム，生活支援センター，障害

福祉サービス事業所

介護老人保健施設，地域包括支援センター，居宅介護支援事業所

21. 施設名：浅井病院

- ・施設形態：私立精神科病院
- ・院長名：秀野 武彦
- ・プログラム統括責任者氏名：小澤 健
- ・指導責任者氏名：小澤 健
- ・指導医人数：(7) 人
- ・精神科病床数：(422) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	379	14
F1	178	28
F2	1,395	370
F3	1,855	173
F4 F50	1,034	37
F4 F7 F8 F9 F50	500	18
F6	12	0
その他	1,063	27

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

都市近郊の単科精神科病院であり、精神科救急病棟を中心とした急性期の入院治療、精神科療養病棟でのリハビリテーションを主とした入院治療、さまざまな疾患の患者が来院する精神科外来治療など精神科医療全般について学ぶことができる。青年期から老年期、身体合併症など、対象としている疾患は多岐に及んでいる。入院症例は認知症、統合失調症、気分障害、物質依存など精神科医として最低限知っておかなければならない疾患についてカバーしている。医療観察法指定通院医療機関であることから、この法律によって通院中の患者が複数名いる。精神科における一般的な疾患についての知識や基本的技能、薬物療法、行動制限の手順など基礎的な技能と法的な知識を学ぶことができる。また、難治性精神疾患治療難治性精神疾患治療（修正型電気けいれん療法、クロザピン）など臨床を幅広く経験できる。合併症病棟を併設しており、内科的な身体管理も内科医の指導のもとに行われている。2018年より通院困難な患者をフォローするため、訪問診療も開始した。

併設施設・活動等：精神科救急治療病棟、精神科救急輪番基幹病院（スーパー救急）、認知症患者医療センター、応急入院指定医療機関、医療観察法指定通院医療機関、精神科作業療法、介護予防プログラム、プレリワークプログラム、訪問看護、訪問診療、訪問歯科、アウトリーチ、災害派遣精神医療チーム（DPAT）

22. 施設名：神奈川県立精神医療センター

- ・施設形態：公的病院
- ・センター長名：小林 桜児（所長）
- ・プログラム統括責任者氏名：小林 桜児（所長）
- ・指導責任者氏名：小林 桜児（副院長兼医療局長）
- ・指導医人数：（ 12 ）人・精神科病床数：（ 323 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間実人数）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	11	17
F1	240	354
F2	142	398
F3	270	325
F4	366	215
F5	6	11
F6	84	67
F7	22	30
その他	193	77

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当センターは2つの精神科救急病棟（計70床）を有し、県の精神科救急医療体制の中核的な基幹病院として、県内救急専用病床33床のうち16床を担当している。急性期症例をはじめ、一般精神科医療から専門医療まで、幅広く豊富な症例を経験できることが当センターの大きな特徴である。

一般精神科医療では、地域と連携して統合失調症や気分障害などの難治例も受け入れ、m-ECTやクロザピン治療を積極的に行っている。専門医療では、依存症、ストレスケア、思春期のそれぞれに対し、専用の病棟や専門外来を持っている。特に、依存症では、SMARRP（MATRIXモデルに基づいたワークブック日本語版を開発後、国内に普及した薬物再使用防止プログラム）やSCOP（感情に焦点を当てた多職種協働包括的治療戦略）という治療技法の開発と

実践も行い、県の依存症治療拠点機関として多様なニーズのある依存症患者を受け入れや啓発活動に取り組んでいる。2020年度からは思春期症例のインターネット・ゲーム依存の治療も開始した。ストレスケアでは、従前より反復性経頭蓋磁気刺激法（rTMS）や鍼灸の臨床研究を行っており、2019年度に全国の施設に先駆けて rTMS の保険診療の体制を整えた。

さらに、指定入院医療機関として 33 床の医療観察法病棟があり、心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った法の対象者に対し、十分に配置された多職種チームによるガイドラインに基づいた治療を実施している。当院では、医療観察法鑑定入院から指定通院医療まで、一貫した医療観察法医療の流れを習得できる。県内の広域に及ぶ指定通院対象者を含め、年間 3000 件以上の訪問看護も行い、地域精神医療を実践している。

2018年4月から 3T-MRI を導入し、自施設内で認知症の鑑別診断を実施できる検査体制の増強を行って、「もの忘れ外来」を開始した。

加えて、都道府県及び政令指定都市によって組織される、専門的な研修・訓練を受けた災害派遣精神医療チームである DPAT（Disaster Psychiatric Assistance Team）を構成しており、なかでも発災から概ね 48 時間以内に、被災した都道府県等において活動できるという定義の先遣隊を派遣する施設で、県の災害拠点精神科病院の指定も受けており、災害精神医学に触れる機会も確保されている。

また、2020年5月から2023年5月まで、県の要請によって構築された「精神科コロナ重点医療機関」として、湘南鎌倉総合病院と連携しながら新型コロナウイルス感染症の精神科患者の治療にも取り組んできた。それを期に、感染症に限らず、広く入院患者の身体合併症治療に対する連携を強化している。

23. 施設名：埼玉県立精神医療センター

- ・施設形態：公的病院
- ・院長名：黒木規臣
- ・指導責任者氏名：黒木規臣
- ・指導医人数：(12) 人
- ・精神科病床数：(183) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	22	9
F1	344	243
F2	173	193
F3	138	57
F4 F50	281	36
F4 F7 F8 F9 F50	488	100
F6	74	16
その他	44	8

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

埼玉県立精神医療センターは、公的単科精神科病院として高度専門医療を提供している。病棟は全て閉鎖であり、精神科救急病棟（スーパー救急病棟）50床、依存症病棟40床、児童思春期病棟30床、精神科急性期病棟30床、医療観察法病棟33床の計183床で、外来は一般精神科外来から専門外来まで幅広く行っている。

疾患としては特に、精神作用物質使用による精神および行動の障害（F1）、統合失調症（F2）、心理的発達の障害（F8）、小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害（F9）が症例豊富である。急性期を中心に、児童から高齢者、任意入院から措置入院・医療観察法対象者、地域医療から高度専門医療まで、精神科医療全般について経験できる。

多職種チーム医療が基本であり、入院初期から退院後の生活を見据えた濃厚な対応を行い、早期社会復帰を目指している。また、修正型電気けいれん療法（mECT）、クロザピン、結核患者収容モデル事業による結核患者の治療、訪問看護も行っている。

スーパー救急病棟は、埼玉県精神科救急情報センターと連携を取り、夜間休日を中心に措置入院等を受け入れ、地域の医療機関では処遇困難な患者の診療も行っている。

依存症については、アルコール依存症のみならず薬物依存症の入院治療を行っている本邦でも数少ない病棟を有している。外来と連携し、治療の動機付け・集団プログラム・疾病教育等、断酒・断薬の継続のための様々なアプローチをしている。外来では、認知行動療法に基づいた当院独自の薬物再乱用防止プログラム「L I F E（ライフ）」を行っている。近年ではギャンブル依存やゲーム障害など幅広い依存の問題を扱っている。

児童思春期病棟は県内唯一の病棟で、院内学級も併設している。外来も含め、教育・福祉等の関係機関と連携を取りながら、個別指導・集団療法等をチームで行っている。

教育研究面では、倫理・安全管理・感染対策等の院内研修が充実しており、医師としての基本的診察能力（コアコンピテンシー）を高めることができる。臨床や研究の分野に関して自身の関心の領域のものから話題を選んで発表をする場もある。

24. 施設名：栃木県立岡本台病院

- ・施設形態：公立病院
- ・院長名：下田 和孝
- ・プログラム統括責任者氏名：天野 託
- ・指導責任者氏名：伊集院 将、篠崎 将貴
- ・指導医人数：(5) 人
- ・精神科病床数：(221) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0 症状性を含む器質性精神障害	98	31
F1 精神作用物質使用による精神および行動の障害	602	82
F2 統合失調症	1,218	280
F3 気分障害	920	116
F4 F50 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害（摂食障害を含む）	53	13
F4 F7 F8 F9 F50 児童・思春期精神障害（摂食障害を含む）	321	41
F6 成人のパーソナリティおよび行動の障害	89	13
その他	0	0

・施設としての特徴

栃木県立岡本台病院は県庁所在地の宇都宮市にあり精神科救急病棟 45 床、男子閉鎖病棟 51 床、男女閉鎖病棟 51 床、混合閉鎖病棟 56 床（休床中）、医療観察法病棟 18 床の合計 221 床の

単科精神科病院である。外来部門、デイケア（大規模）、作業療法棟を備えている。

○精神科救急、

当院は、栃木県の精神科救急の基幹病院として、夜間休日を中心に多数の急性期患者を受け入れ、精神科救急病棟において集中的に治療している。令和4年度の当院全体の新入院は475件で、うち緊急措置入院が95件、措置入院が75件、医療保護入院が171件、任意入院が87件、その他が13件だった。このように精神科救急業務を背景に緊急措置入院、措置入院、医療保護入院が非常に多いのが当院の特徴である。対象疾患は統合失調症を始め、双極性障害、うつ病、認知症（周辺症状）、器質性精神障害、物質使用障害、発達障害、パーソナリティ障害、解離性障害等極めて多彩でありほとんど全ての精神障害に及んでいる。

○高度な精神科専門医療

重症・難治性の気分障害や統合失調症に対して、修正型電気けいれん療法を行っており、治療抵抗性統合失調症治療薬のクロザピンによる治療も積極的に行っている。

○物質使用障害の臨床

アルコール専門外来、認知行動療法的心理教育であるARP（アルコールリハビリテーションプログラム）、アルコール依存症外来集団プログラム、断酒会院内例会やAAメッセージ、ダルクミーティングを定期的に開催しており、健康福祉センターや保健所、警察署など地域の諸機関と連携し、患者や家族が孤立しないように努めている。令和4年度の家族相談を含めたアルコール外来初診者数は109件で、アルコール外来からの入院は34件であった。

○医療観察法医療

18床の医療観察法病棟では、心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った対象者に対して、看護師、精神保健福祉士、心理士、作業療法士、医師からなる治療チームを構成し、包括的かつ高密度の多職種チーム医療、各職種の特性を生かした様々な治療プログラムが実践されている。

病棟は縊死防止などの安全性に配慮された居室、観察室、保護室、生活訓練室、リラクゼーションルーム、作業療法室、集団療法室、体育館、多機能ホールなどを設置して高い機能性を保ち、標準1年半の長期入院であること、居住空間の広さが暴力イベントを減少させることから、全個室、広い空間、十分な採光などの居住性にも配慮されている。

25. 施設名：田宮病院

- ・施設名：医療法人崇徳会田宮病院
- ・施設形態：私立精神科病院
- ・院長名：丸山直樹
- ・プログラム総括責任者氏名：稲井徳栄
- ・指導責任者氏名：稲井徳栄
- ・指導医数：（5）人
- ・精神科病床数：（406）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間） 疾患外来患者数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	264	293
F1	44	28
F2	666	376
F3	568	209
F4 F50	301	89
F4 F7 F8 F9 F50	147	35
F6	25	10
その他	14	2

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

社会医療法人崇徳会田宮病院は、新潟県の中央に位置し県内で2番目に大きい都市である長岡市にあって、県南圏域の救急精神医療、長岡市およびその周辺部の地域精神医療を担うとともに、先進的医療を展開している新潟県を代表する精神科病院の一つである。総病床数466床で、うち、58床（病棟は1つ）が精神科救急入院料病棟、60床（病棟は1つ）が社会復帰病棟、60床（病棟は1つ）が認知症治療病棟、228床（病棟は4つ）が精神療養病棟、60床（病棟は1つ）が介護医療院となっている。したがって、田宮病院では救急医療、社会復帰を目指した医療、認知症医療、介護を伴う医療などを幅広く研修できる。診療する疾患は、時代を反映しF3気分障害、F4神経症性障害やF0症状性を含む器質性精神障害がF2統合失調症圏とならび多い傾向がある。措置入院は月に1～3人と多い。また、救急病院ならではの種々の精神疾患を診ることができ、容易に多くの症例を集めることができる。社会医療法人崇徳会は、多機能型精神科診療所（こころのクリニック ウイズ）、一般病院（長岡西病院）や各種の医療福祉施設を有しているので、これらを利用した研修も行えることが可能である。さらに、難治性統合失調症患者にクロザピン治療を、また修正型電気痙攣療法（m-ECT）も実施している。身体合併症患者は長岡西病院（崇徳会に属する病院）や市内の救急当番病院へも紹介できる。

26. 施設名：医療法人 社団柏水会 初石病院

- ・施設形態：精神科単科病院
- ・院長名：唐崎 三千代
- ・指導責任者氏名：今井 径介
- ・指導医人数：(5) 人
- ・精神科病床数：(806) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	155	136
F1	7	12
F2	757	257
F3	244	86
F4 F50	52	12
F4 F7 F8 F9 F50	43	6
F6	6	10
その他	0	0

施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、許可病床 806 床を有する単科精神病院であるが、精神科医師の他、日本神経学会専門医 3 人を含む神経内科医師や複数人の一般内科医師が勤務しており、器質性疾患等の症例も豊富である。精神科救急病棟では、措置入院、応急入院を積極的に受け入れ、地域の精神科救急システムに貢献している。認知症治療病棟では、BPSD の治療に重点を置いて短期治療で地域に戻ることを目標としている。神経難病病棟では精神症状を伴う難病患者の受け入れが可能である。また、訪問看護や関連法人の入所及び通所施設と連携して、入院から地域での生活までを連続的に支援している。以上、当院では認知症、神経疾患による精神障害も経験することができ、地域の資源を活用した社会復帰も経験できる。

27. 施設名：公益財団法人神経研究所附属晴和病院

- ・施設形態：民間病院
- ・院長名：小田英男
- ・指導管理責任者氏名：小田英男
- ・指導医人数：（1）人
- ・精神科病床数：（104）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	10	0
F1	0	3
F2	319	60
F3	492	227
F4 F50	62	30
F4 F7 F8 F9 F50	233	13
F6	8	3
その他	212	246

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

精神科の病気全般の治療を行い、若年から高年までのうつ病や不安障害を中心とした治療を実践してきたが、現在は発達障害や睡眠障害の治療にも力を入れている。

外来部門では、発達障害や睡眠障害の専門医師が複数名在籍しており、診断や治療の充実を図っている。デイケアでは、復職支援プログラム（リワーク）だけでなく、発達障害の専門プログラムやADHDの専門プログラム、学生向けのプログラムを展開し、発達障害の社会適応に力を注いでいる。また、未就労の方に対する支援についても積極的に関係機関と連携を図っている。

入院環境として病床が104（一般52、療養52）床あり、自由な雰囲気とともに個人のプライバシーを尊重することを基本方針として多様な個室を用意している。また、外来と同様にベテラン医師が担当しており、看護体制は、一般病棟15：1看護、療養病棟20：1看護の看護基準を採用して、行き届いた温かい看護の実践に努めている。

28. 施設名：国家公務員共済組合連合会東京共済病院

- ・施設形態：公的総合病院
- ・院長名：久保田 俊郎
- ・指導責任者氏名：吉武 和代
- ・指導医人数：(2) 人
- ・精神科病床数：(6) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	50	10
F1	10	5
F2	90	10
F3	110	20
F4 F50	80	10
F4 F7 F8 F9 F50	5	3
F6	5	2
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴）

総合病院内で精神科を標榜し、外来および一般病床での入院による治療を行っている。精神保健福祉法によらずとも一般医療で精神障害の受療が可能であり、これを望む患者に対して、救急を含めて適切な医療を提供している。統合失調症・感情障害などをはじめ精神障害全般を対象とし、認知症等の脳器質性疾患にも対応している。小児、パーソナリティ障害、精神作用物質依存など専門性の高い分野については他の専門機関と連携を図っている。入院は急性期病棟において集約的な治療を行うほか、地域包括ケア病棟も活用し、患者が地域で生活し続けられることを重視している。総合病院ならではの他科と連携した精神科医療を実践し、身体疾患合併症例への対応やリエゾンコンサルテーション・緩和ケア・認知症ケア等を重視している。また、地域密着型病院として地元連携医・行政機関との協働も積極的に行っている。

29. 施設名：医療法人博文会 市里病院

- ・施設形態：単科精神科病院
- ・院長名：杉山健志
- ・指導責任者氏名：杉山健志
- ・指導医人数：(3) 人
- ・精神科病床数：(98) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	27	8
F1	31	9
F2	385	136
F3	357	25
F4 F50	253	5
F7 F8 F9	137	19
F6	11	1
その他	95	4

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）当院は98床の単科精神科病院である。措置入院、応急入院、医療保護入院、任意入院について、長期入院の慢性期から救急を含む急性期まで多彩なステージの標準的な精神科治療を経験できる。対象疾患は統合失調症を中心に気分障害、薬物依存、認知症など広い精神疾患であり、市内の関連クリニックから紹介される不安障害やパーソナリティ障害の患者も増加している。また、当院は東日本大震災の被災病院であり、同じ法人の運営する双葉病院は原発事故により閉鎖中である。このため、職員および患者に福島第一原発事故による避難者が多く、特に原発事故被災者の精神医学的問題を学ぶことができる。

30. 施設名：東日本矯正医療センター

- ・施設形態：法務省所管矯正施設
- ・院長名：奥村 雄介
- ・指導責任者氏名：奥村 雄介
- ・指導医人数：（ 9 ）人
- ・精神科病床数：（ 258 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	0	16
F1	0	39
F2	0	26
F3	0	26
F4 F50	0	115
F4 F7 F8 F9 F50	0	42
F6	0	3
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

東日本矯正医療センターは、法務省矯正局が所管する矯正施設のうち、医療刑務所と医療少年院が一つの病院として認可を受けたものである。精神科のほか、内科、外科、その他の診療科があり、全国の矯正施設から専門的治療を必要とする患者を受け入れる総合病院的役割を果たしている。そのうち受刑者（成人）である精神科患者については、他の矯正施設において精神変調が明らかになり、当該施設での管理が困難となって移送されてくる患者である。主な疾患は統合失調症、発達障害、物質関連障害、摂食障害、認知症など多義に渡っており、幅広い臨床経験を積むことができる。また、摂食障害女子専門病棟も設置している。

看護師、刑務官、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、薬剤師等と連携し、集団療法、犯罪や疾病教育の個別プログラム、認知行動療法、OT、PT、カウンセリング等を通じ、チーム医療を意識した治療を学ぶことができる。

31. 施設名：国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院

- ・施設形態：公的総合病院
- ・院長名：長堀 薫
- ・指導責任者氏名：光定 博生
- ・指導医人数：(3) 人
- ・精神科病床数：(10) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	523	64
F1	41	2
F2	188	13
F3	78	20
F4 F50	233	18
F4 F7 F8 F9 F50	1	2
F6	11	2
その他	183	0

・施設としての特徴

（扱う疾患の特徴等）

横須賀共済病院は神奈川県三浦半島の中核的な高度急性期病院であり、救急車の年間受け入れ台数は1万台を超える。このため、自殺未遂患者や身体合併症を抱える精神疾患患者を診療する機会が多い。精神科病床は10床の開放病棟で、入院患者の多くは身体合併症を有する。精神科リエゾンチーム、緩和ケアチーム、認知症ケアチームを有し、総合病院の精神科で必要とされるスキルをバランスよく学ぶことができる。また、第3世代の認知行動療法と呼ばれることのあるアクセプタンス&コミットメント・セラピー（トレーニング）を患者には治療として、病院職員へは予防的介入として行っており、希望者は研修期間中に学ぶことができる。

32. 施設名：医療法人社団 成仁病院

- ・施設形態：民間病院
- ・院長名：窪田恭彦
- ・指導責任者氏名：窪田恭彦
- ・指導医人数：(6) 人
- ・精神科病床数：(114) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	423	86
F1	107	47
F2	897	508
F3	909	345
F4 F50	521	76
F4 F7 F8 F9 F50	63	22
F6	36	16
その他	59	3

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

措置入院、応急入院、医療観察法通院医療機関の指定を受けている。急性期精神疾患の短期集中治療と早期退院に特化した単科精神科病院である。精神科救急輪番体制に積極的に参画しており、入院精神科医療全般について学ぶことができる。平均在院日数は30日強で、スーパー救急病棟と10対1入院病棟を有している。救急件数は都内随一であり、救急相談件数は月平均130件超である。また、m-ECT導入は年間3,000件を数える。精神科ショート・デイ・デイナイトケアや、アウトリーチ事業も積極的に行っており、精神科訪問看護、訪問診療、相談支援事業など多角的に展開。再入院率を減らし、退院後の定期的な通院医療や地域生活への定着に力を入れている。

役割機能別業務体制、トリアージシステムをはじめとした独自のシステムを採用している。症例数は都内最多、指定医に必要な症例が網羅でき、早期に実力をつけることができる。

これまでの実績として過去8名の医師が在籍中に指定医を取得し、現在も1名申請中である。また、4名の医師が東京医科大学社会人大学院にて学位を取得、現在3名が在学している。

33. 施設名：医療法人社団 清心会 藤沢病院

- ・施設形態：私立 精神科病院
- ・院長名：石井 紀夫
- ・指導責任者氏名：林 美穂
- ・指導医人数：(12.8) 人
- ・精神科病床数：(420) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	503	170
F1	26	9
F2	1257	528
F3	481	85
F4 F50	246	12
F4 F7 F8 F9 F50	354	17
F6	44	4
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は急性期治療病棟、認知症治療病棟、療養病棟からなる、8病棟480床を有する精神科単科病院である。関連施設として老人保健施設を有している。湘南の中心都市藤沢における地域精神医療を担い、急性期から社会復帰期までの幅広い症例を、入院・外来を通じて経験することができる。デイケアなどの精神科リハビリテーション、訪問サービスなどの外来サービスの充実も特徴で、地域福祉との連携を深めながら、地域貢献のために精神医療を実践している。

34. 施設名：千曲荘病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：遠藤謙二
- ・指導責任者氏名：遠藤謙二
- ・指導医人数：(6) 人
- ・精神科病床数：(239) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	520	98
F1	91	15
F2	969	226
F3	1709	117
F4 F50	1214	20
F4 F7 F8 F9 F50	797	46
F6	26	2
その他	151	11

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

長野県東信地区の中核的精神科病院である。入院医療はうつ病・統合失調症・認知症疾患・神経症等、幅広くメンタルヘルス全般に対して、精神療法・薬物療法・社会療法を総合的に行っている。特に統合失調症、アルコール依存症に関しては教育プログラムを活用している。難治統合失調症にはクロザピン治療を積極的に導入している。2021年にはうつ病治療 r-TMS 療法を長野県で初導入した。措置入院、医療保護入院などの非自発入院や行動制限を必要とする症例も多い。病棟は完全に機能分化し、精神科救急病棟、精神療養病棟、認知症疾患治療病棟からなる5病棟体制である。外来診療についても、精神障害者デイケア、認知症デイケア、訪問看護、などの多彩な外来・地域支援サービスを展開し、積極的に他の施設とも地域連携活動を行っている。

最近、自閉症、ADHD に対して集団療法を施行している。またデイケアでは、ハローワークと連携した就労支援プログラムを展開して成果を上げている。

併設施設等:応急指定、精神科救急病棟、精神療養病棟、認知症疾患治療病棟、精神科作業療法、精神科デイケア、重度認知症患者デイケア、認知症対応型共同生活介護、訪問看護ステーション、短期入所、就労支援継続型、共同生活介護、共同生活援助生活訓練、宿泊型生活訓練、地域移行支援、地域活動支援センター、精神科救急輪番、医療観察法指定通院医療機関、日本老年精神医学会専門医認定施設、日本認知症学会専門医制度教育施設、日本精神神経学会専門医制度研修・専攻医研修プログラム認定施設

35. 施設名：小山富士見台病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：阿部隆明
- ・指導責任者氏名：大西康則
- ・指導医人数：(3) 人
- ・精神科病床数：(197) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	32	30
F1	4	3
F2	214	203
F3	328	120
F4 F50	339	20
F4 F7 F8 F9 F50	42	8
F6	23	6
その他	62	2

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

小山富士見台病院は下野市にある私立単科精神科病院であり、統合失調症（F2）、気分障害（F3）を中心に多様な精神疾患の治療にあたっている。常勤医が小山、真岡等の企業に産業医として企業に定期的に訪問している関係もあり、職場結合性うつ病（加藤、2013）の事例が外来で多い。地元の支援学校や障害児施設と密接な連携をしていることもあり、児童・思春期の事例も増えている。治療面では、病棟では薬物療法に加え、園芸療法を含む作業療法に力を入れている。リハビリ部門では近隣の会社のうつ病等によるメンタル不調者を対象にしたリワーク・デイケアも行い、毎日計40名を超える患者がデイケアに来ている。アウトリーチ部門では、1ヵ月平均延べ200件余りの訪問を行っている。その中には認知症をはじめとした高齢患者が少なくなく、厚労省が推奨している地域包括医療に多職種連携のもとに積極的に関わっている。

最新の知見に基づく精神科薬物療法について研究会を開いている。精神病理学の研究会を開き、患者の病態把握を緻密にして、より高い質の医療を目指している。創造性と精神的逸脱あるいはゆらぎの内的かわりに光を当てる病跡学的研究も行っている。

当施設では開設以来全ての診療録を保存しており、精神疾患の長期経過を調べることを大事にしている。邦文だけでなく、英・独・仏語圏の精神病理学に関する古典、また哲学をはじめとした人文科学の書籍を多数所蔵し、図書が充実しているのも特徴である。

36. 施設名：東京さつきホスピタル
- ・施設形態：私立単科精神科病院
 - ・院長名：藤枝 誠
 - ・指導責任者氏名：藤枝 誠
 - ・指導医人数：(5) 人
 - ・精神科病床数：(156) 床
 - ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	138	61
F1	18	6
F2	392	163
F3	122	48
F4 F50	141	22
F4 F7 F8 F9 F50	152	41
F6	7	4
その他	39	18

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

東京さつきホスピタルは、東京都調布市、京王線つつじが丘駅より徒歩 5 分に位置する私立精神科病院で。前身の山田病院の老朽化に伴い 2020 年 6 月に駅の近くに移転し、東京さつきホスピタルに病院名を変更した。当院は作業所、地域生活支援センター、オープンカフェ、デイケア、訪問看護、グループホームなどを近接させた医療・福祉複合施設となっており、病床機能としては、60 床の精神科急性期治療病棟と 48 床の発達思春期病床、48 床の認知症病棟の合計 156 床からなる。児童思春期精神科医療のニーズが高く、2021 年 6 月には 25 床の病棟単位として新規稼働したが、さらに 2023 年 1 月より 48 床までに増床している。また適応障害や気分障害の割合が多いため 2021 年 6 月にストレスケア病床を稼働。2 度コロナ病床への変更を余儀なくされたが現在も体験型のプログラムを軸にストレス関連の治療の場として 60 床の急性期病棟のうちの 12 床がストレスケアエリアとして稼働している。医療法人（医師、相談室、訪問看護など）と福祉法人（作業所、グループホーム、地域活動支援センター）のスタッフが総合スタッフルーム一室に詰め、患者情報の共有を容易にしているのも特徴的である。

37. 施設名：稲城台病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：永野 満
- ・指導責任者氏名：永野 満
- ・指導医人数：(3) 人
- ・精神科病床数：(292) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	210	224
F1	13	10
F2	276	129
F3	206	50
F4 F50	130	16
F4 F7 F8 F9 F50	187	28
F6	9	3
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、内科療養病棟41床、回復期リハビリテーション病棟48床を併設した、381床の東京都にある精神科病院である。精神科病院としては稲城市唯一であり、地域のニーズに応えるべく、多様な領域をカバーしている。一般精神については、急性期、回復期、慢性期、退院後のケアと、一貫して切れ目なく治療を提供することをモットーとしており、全病棟でSSTを行うなどリハビリテーションも積極的に行っている。したがって急性期の患者はもとより、大学病院では診られない慢性統合失調症患者の、長期的な視点に立った研修も可能である。その他、救急症例、思春期、薬物依存、司法精神医学などの症例も経験することができる。成人発達障害専門外来ならびにデイケアを行っており、ASD、ADHDについても研修が可能である。また当院は、東京都指定の地域連携型認知症疾患センターであり、認知症治療病棟も有しており、認知症についても十分な症例が経験できる。さらに、内科療養、回復期リハビリテーション病棟を併設し、内科医も常勤しているので、合併症の対応、リエゾンの症例も経験可能である。

38. 施設名：公益財団法人金森和心会 雲雀ヶ丘病院

・施設形態：私立単科精神科病院

・院長名：熊倉 徹雄

・指導責任者氏名：熊倉 徹雄

・指導医人数：(3) 人

・精神科病床数：(254 床) (令和3年3月現在 1病棟 (60床) のみ稼働)

・疾患別入院数・外来数 (年間)

疾患	外来患者数 (年間)	入院患者数 (年間)
F0	91	28
F1	13	17
F2	31	45
F3	87	19
F4 F50	83	5
F4 F7 F8 F9 F50	105	7
F6	2	2
その他	26	3

・施設としての特徴 (扱う疾患の特徴等)

- ①昭和31年に福島県の相双地域で唯一の精神科病院として開設した。以来、64年間にわたり「和の心」「明るく優しく温かく」を基本理念として、精神障害者のための医療、保健、福祉や地域の人々の健康保持・増進に努めている。
- ②平成23年3月の東日本大震災・原発事故 (以降、大震災) 前は、全病床数254床、4看護単位で運営していた。その内訳は、精神一般病棟3病棟・194床、認知症治療病棟60床であった。さらに、入院以外では、精神科外来、精神科訪問看護、精神科デイケア、精神科作業療法などを実施していた。
- ③大震災の際、当初、当区域が屋内退避区域に設定され、平成23年3月17日までに全入院患者を県内外の病院へ転院させ、一旦、休院となった。その後、平成23年6月に外来一部再開、平成24年1月に精神科急性期対応型病棟 (60床)、平成25年11月には認知症治療病棟 (60床) を再開した。(認知症治療病棟は平成28年7月から休床中)
- ④平成30年4月から福島県認知症疾患医療センター (連携型) を開設し、認知症に関して専門的な研修が可能である。
- ⑤精神科急性期対応型病棟では、指導医の指導のもと、幅広い疾患患者 (統合失調症、気分障害、ストレス関連疾患、アルコール依存症、BPSD の顕著な認知症、器質性精神障害など) の主治医となる。また、医療保護入院、措置入院、応急入院患者の主治医となり、精神保健指定医や専門医資格取得に必要な症例の研修ができる。

- ⑥児童精神科外来では発達障害児の児童精神科専門医による診断、治療の指導を受けられる。
- ⑦大震災以降、相双地域において原発以北で稼働している唯一の精神科病院であるため、精神科救急医療及び災害精神医療について学ぶことができる。
- ⑧CT,脳波の読影と判読が研修できる。
- ⑨心理検査の依頼と実施ができ、結果を理解する研修ができる。

39. 施設名：船橋市立医療センター

- ・施設形態：公立病院
- ・院長名：丸山 尚嗣
- ・指導責任者氏名：宇田川 雅彦
- ・指導医人数：(1) 人
- ・精神科病床数：(0) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	88	0
F1	22	0
F2	118	0
F3	323	0
F4 F50	75	0
F4 F7 F8 F9 F50	13	0
F6	12	0
その他	26	0

※入院患者のリエゾン件数は年間 596 例（令和 1 年度）であり、せん妄（F0）が 4 割以上を占める。

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴）：

船橋市立医療センター（院長：丸山尚嗣）は、全病床数 449 床、29 診療科を有する総合病院で、地域医療支援病院として地域の医療機関等と密接に連携・協力しながら、急性期医療及び高度医療を提供する中核病院である。精神科は無床だが、入院患者のリエゾンを年間 596 例（令和 1 年度）行っており、リエゾン・ケースの疾患の内訳は 4 割以上がせん妄で、次いでうつ病・うつ状態などである。

当施設は精神科病床を持たない無床総合病院精神科であるから、その特色を生かし、総合病院精神医学及びリエゾン精神医学を中心に研修を行いつつ、精神科専門医として必要な精神科臨床全般の知識と技能を習得することを目指す。当院には救命救急センターと緩和ケア病棟があるので、救命救急センターにおいては自殺未遂を主とした救命救急センター入院患者の精神科診療を多数経験し、緩和ケア病棟においては緩和ケア全般に従事する研修も含まれる。さらに精神科リエゾンチーム（加算取得）（以下リエゾンチームと記す）、認知症ケアチーム（加算 1 取得）の両チームの拠点となるリエゾンセンターを開設しており、緩和ケアチーム活動と合わせると、総合病院精神科及びリエゾン・コンサルテーション精神医学のあらゆる要素を経験することが可能である。研修ではそれを目指とする。

具体的には、リエゾン精神医学、救急医療における精神科診療（救急外来および救命救急センターにおける自殺未遂・自傷などの診療）、緩和ケアチームメンバーとして緩和ケア病棟や各病棟及び外来において緩和ケアに従事する、認知症ケアチームメンバーとして各病棟において認知症患者の医療に従事し、病棟に指導的役割を果たす。また様々な精神疾患の外来診療を行うことによって、総合病院での一般医療との連携の中で必要とされる幅広い診療能力、問題解決能力、及びチームメンバーとしての行動能力を身につけることを目標とする。

当院の研修では、特にリエゾン・コンサルテーションや緩和医療、認知症医療において豊富な経験が可能で、

総合病院において頻度も高く重要な疾患であるせん妄、うつ病・うつ状態、自殺未遂、児童思春期例等の診断と治療については、豊富な経験が保証され、相当高い診療能力を身につけることが期待できる。

2) 当院にて経験可能な症例

- ・統合失調症
- ・気分障害
- ・不安障害、身体表現性障害、ストレス関連障害
- ・児童思春期精神障害（摂食障害を含む）
- ・認知症、症状性または器質性精神障害
- ・中毒性精神障害
- ・人格（パーソナリティ）障害
- ・発達障害
- ・てんかん

40. 施設名：医療法人社団光生会 平川病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：平川 淳一
- ・指導責任者氏名：渡部 洋実
- ・指導医人数：(4) 人
- ・精神科病床数：(307) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	301	104
F1	248	99
F2	366	161
F3	261	103
F4 F50	66	22
F4 F7 F8 F9 F50	7	5
F6	6	5
その他	3	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

2019 度〈精神科〉の入院患者数は 499 人、1 日平均患者数 278 人。平均在院日数は 206 日、精神科急性期治療病棟では 62 日であり、入院 3 ヶ月以内の在宅への退院率は 61%（年間平均）であり、短期入院、早期社会復帰を目指している。外来は 1 年間〈精神科〉の延べ患者数は 22,237 人、初診患者数 336 人である。★精神病棟は、7 病棟あり、機能別専門別に編成されている。南館は全室個室とし治療環境の快適性とプライバシーの配慮を兼ね備えた構造となっている。急性期治療病棟は、2020 年 11 月に急性期医師配置加算 3 を届出、クロザピンの新規導入にも力を入れ、隔離室 3、観察室 4、他は全て個室とし、急性期治療、精神科救急対応も行っている。精神科合併症病棟も全室個室とし、精神疾患に加えて身体疾患や身体リハビリテーションなどの合併症を持つ症例への対応に力を入れている。特に H27 より地域精神科身体合併症救急連携事業（多摩西南ブロック）の委託を受け一般病院との連携強化を図っている。また、拠点型認知症疾患医療センター事業を東京都より委託を受け、認知症治療病棟では、せん妄や徘徊など在宅では介護困難な患者に対して、生活機能回復訓練等の治療を通して、作業療法士、心理療法士を中心に在宅や介護施設へ移行を目指す。高齢者や認知症の疾患で大きな問題となる栄養については、内科医を中心に NST が活動している。特に、誤嚥については、言語聴覚士が個別対応し、管理栄養士や歯科衛生士がチームになってケアする体制が整っている。アルコール治療を中心に行う病棟では、肝硬変や食道静脈瘤、腹水などの治療も併せて行いながら断酒の治療プログラムを行っている。

★入院患者の内訳（2019 年度、国際分類 ICD-10 よる）は、統合失調症（F2）32.2%で一番多いが年々減少傾向にある。アルコール依存症他（F1）19.8%、認知症・器質性障害他（F0）

が 20.8%、うつ病などの気分障害 (F3) 20.6%が、多くを占める。認知症・器質性障害他 (F0)、うつ病などの気分障害 (F3) 20.6%は増加、人格障害 (F6)、小児期・青年期の行動及び情緒障害 (F9) など多様化する傾向にある。入院形態では、任意入院 328 件、医療保護入院 175 件、措置入院 21 件、応急入院 0 であった。

★精神疾患の治療は、患者の症状に合わせて薬物治療、精神療法、精神科作業療法を組み合わせて行っている。麻酔科非常医 2 名により、全身麻酔を伴った電気痙攣療法を実施 (19 年度実績 : 263 件) し、高齢者の希死念慮を伴う、うつ病や薬物療法抵抗性の精神疾患に対応している。また、クロザピン (治療抵抗性統合失調症治療指導管理料届出) も処方経験をつむことができる。

★精神科リハビリテーションとして作業療法士 (4 名)、理学療法士 (13 名)、言語聴覚士 (1 名) を合せた精神科における総合リハビリテーションに取り組んでいる。地域生活支援科を中心に、退院促進と地域支援を包括的にとらえる活動を積極的に行っている。各病棟担当の精神保健福祉士 7 人が、入院時から関わりを通し、早期退院、社会復帰を支援する。外来部門では、精神一般外来の他、認知症専門外来、発達障害専門外来を展開している。また外来部門は、地域生活支援科と連携し、精神科訪問看護 (2019 年実績 1855 件)、精神科作業療法 (絵画療法含)、栄養指導、精神科デイケア・ショートケア (大規模) 等の外来サービスを提供することにより地域生活を支援する。特に精神科デイケアでは、様々なプログラムで社会復帰の訓練を実施、アルコール依存症のプログラムも行っている。デイケアの 1 日平均外来患者数は約 40 人である。

41. 施設名：青梅成木台病院
- ・施設形態：民間病院
 - ・院長名：高橋裕子
 - ・指導責任者氏名：高橋裕子
 - ・指導医人数：(3) 人
 - ・精神科病床数：(270) 床
 - ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患別「入院数・外来数（年間）」			
疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）	
F 0			547
F 1			26
F 2			472
F 3			106
F 4 F 5 0			200
F 4 F 7 F 8 F 9 F 5 0			90
F 6			16
その他			

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、東京都西多摩医療圏（青梅市、奥多摩町、羽村市、福生市、瑞穂町、あきる野市、日の出町、桧原村）に属し、東京都さらには隣接する埼玉県の行政とも広く連携して地域の精神医療を担っている。東京都より「精神科救急後方病床確保事業」、「精神科夜間休日救急医療事業」、「西多摩医療圏認知症疾患医療センター」、「措置入院」等の事業を受託し、行政機関との相互協力関係の中で積極的に事業に取り組んでいます。病床数は270床で、精神科急性期治療病棟、精神科療養病棟、認知症治療病棟、合併症対応の精神科入院基本料病棟の5つの病棟を有している。

また、大規模デイケアや作業療法を充実させ、地域包括ケアの観点から訪問看護や訪問診療などを行っている。

長期入院患者を地域社会へ退院させる社会復帰活動の一環として共同生活援助事業（グループホーム：青梅市・飯能市）を運営している。

ショートケアを併設した精神科クリニック（飯能市）で、心理カウンセリング等も行っている。その他、相談支援事業（飯能市）も担っている。当院では、精神科急性期から慢性期及び地域の在宅医療・介護・福祉の多職種連携の精神科医療を学ぶことができる。

42. 施設名：がん研有明病院

- ・施設形態：私立総合病院
- ・院長名：佐野 武
- ・指導責任者氏名：清水 研
- ・指導医人数：(3) 人
- ・精神科病床数：(0) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	39	91
F1	9	6
F2	13	3
F3	57	35
F4 F50	128	75
F4 F7 F8 F9 F50	23	19
F6	0	0
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

がん研有明病院は、日本のがん医療の中核病院であり、あらゆるがん腫に対して、最先端の医療を提供し、先進的な診断法および治療法を創出している。がん患者および家族には、高頻度で精神疾患が合併するため、腫瘍精神科医は緩和ケアチームのメンバーとして、積極的にチーム医療に参画し、多職種と連携したリエゾン・コンサルテーションサービスを提供している。臨床に加えて、研究開発部門と連携した臨床研究のアクティビティも高い。介入対象となる精神疾患は、うつ病、適応障害、せん妄が主であり、経験豊かな指導医のもと、多くの症例を経験し、精神療法、薬物療法およびチーム医療におけるコンサルテーションスキルについて、学ぶことが可能である。

43. 施設名：医療法人社団青木末次郎記念会 相州病院

- ・施設形態：医療法人 単科精神科病院
- ・院長名：小坂 淳
- ・指導責任者氏名：西本 雅彦
- ・指導医人数：(5) 人
- ・精神科病床数：(263) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	22	34
F1	0	6
F2	285	140
F3	191	105
F4 F50	42	0
F4 F7 F8 F9 F50	67	45
F6	0	6
その他	0	2

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

相州病院は神奈川県県央地区（厚木市）に於いて、精神科急性期治療病棟（60床）、精神療養棟（157床：内高齢者対応58床）、認知症治療病棟（46床）と広く入院を受け入れている。

急性期治療病棟では治療環境としてPICUや個室を十分に確保している。また、各職種がクリニカルパスを共有しながら3ヶ月以内に在宅へ退院ができるような治療実践を積み重ねてきた。3ヶ月を超える難治傾向にある患者様へは、療養病棟においてグループ活動や集団精神療法などを駆使し、より充実した治療ができる努力や工夫を重ねている。認知症治療病棟についても専門的な「診断」「治療」が安心安全に行われるよう積極的に取り組んでいる。2014年12月からは、重篤なうつ病や薬物治療では難治なケースにおいて修正型電気けいれん療法を実施し、これまでに比較して良好な実績を残している。

この様な入院治療環境と共に在宅においても、安心して医療を受けられるよう法人内のクリニックとの連携を密にし、地域での安定した生活を送れる支援を行っている。患者、利用者様の自立した生活への支援のためのグループホーム、就労継続支援（B型）といった福祉サービスとの連携を密にしている。訪問看護ステーション・在宅介護支援・海老名市相談事業等の福祉サービスも展開している。関連クリニックでは精神科・心療内科として一般的な薬物治療だけではなく必要な方には時間をかけた心理カウンセリングを合わせて実施。また、職場復帰サポートコース・リワークに特化したデイケアも含めクリニック・デイケアも充実している。

当法人だけでなく地域において様々な機関（医療・行政・産業・教育等）とともにネットワークを構築し、社会貢献の一助になればと考えている。

44. 施設名：高田西城病院
- ・施設形態：私立単科精神科病院
 - ・院長名：川室 優
 - ・指導責任者氏名：川室 優
 - ・指導医人数：(2) 人
 - ・精神科病床数：(270) 床
 - ・疾患別入院数・外来数（年間） * 令和2年度

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	6 2 4	2 3 7
F1	1 4	5
F2	4 5 7	1 0 0
F3	6 7 7	4 2
F4 F50	6 2 9	1 6
F7 F8 F9	1 7 9	1 1
F6	3	1
その他	1 6 3	1 0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

高田西城病院は、4,000本の桜に囲まれた高田城址公園に隣接し、上越市の市街地にあり、タクシーで高田駅より5分で着く便利なところに位置する、遠くには妙高山を仰ぐことのできるすばらしい自然環境の中で、心の病をもつ方々の治療に取り組んでいる。当院は単科精神科病院であり、令和2年に創立100周年（1920年開設）を迎えた。隣接する妙高市・糸魚川市には精神科病床はなく、上越地域の行政、地域諸関係機関とも広く密な連携を持ちながら、地域の中核精神科医療を担っている。

病床数は270床で、精神保健福祉法指定病床を有しており、措置入院を受け入れている。急性期病棟（2病棟）、リカバリー病棟（1病棟）、認知症治療病棟（2病棟）など機能分化した5つの病棟を有している。各病棟では早期から積極的に病態に応じた治療対応をし、認知症病棟においては、薬物療法の他に回想法的ケアや中庭での稲作ケアなど新しい試みを取り入れているのが特徴である。精神科救急では、新潟県精神科救急輪番制度に基づいて患者を受け入れている。身体的疾患については常勤内科医が対応しており、重症例については、上越地域における輪番制の救急指定病院に搬送が可能である。

入院から切れ目のない退院支援を行うために、退院前訪問の実施、精神科訪問看護・訪問看護ステーション・精神科デイケア・ショートケアの導入など、本人の希望に沿った安心した地域生活が送れるように、多職種チームを中心にケア会議を開いている。また就労支援についても、「上越つくしの里」や障害者職業訓練センターなどの地域諸機関とも連携をとり、精神科の包摂的な地域包括ケアを重視している。

外来では統合失調症、気分障害（双極性障害など）、認知症、器質性精神障害、発達障害（自閉ス

ペクトラム症、ADHD など)、不安・強迫障害（神経症）など多様な精神疾患の治療にあたっている。その治療内容は、薬物療法と精神療法を行いながら、精神科デイケア（ショートケア）、精神科作業療法、SST（社会ソーシャルスキルトレーニング：旧名 社会生活技能訓練）や認知行動療法的アプローチを取り入れたグループワーク、認知症生活機能訓練などを導入している。（令和4年度にはES療法やrTMS療法を導入予定）その他、精神保健福祉相談室による各種相談対応、つくし・西城くらしと仕事の相談センター（令和4年委託開設）、公認心理師による外来カウンセリング、「お母さんのこころの相談室」など、上越地域の幅広いニーズに多職種専門職が対応している。

一般精神科外来の他に、専門外来として「もの忘れ外来」、「脳の健康外来」、「発達障害外来」を設置している。発達障害は、「自閉スペクトラム症専門プログラム」を令和2年度から展開している。近郊には同様プログラムがないため、上越地域以外からもニーズが求められ、令和3年より発達障害の就労支援プログラムを実施し、成果をあげている。

平成11年（1999年）から老人性痴呆疾患センターの認可を受け、平成21年（2009年）に、名称を新たに「新潟県指定認知症疾患医療センター」では、認知症疾患に関する鑑別診断や専門医療相談を受け、地域の認知症医療・ケアの役割を担っている。同時に行政の“認知症初期集中支援チーム”のリーダーシップをとり、関係諸機関等と密に連携し、生活・家族支援など“認知症の人”のケアにも力を入れている。

当院の医療機器としては、診察室内は電子カルテ設置ではないが、薬剤処方、諸書類全て、コンピュータ作業が可能である。画像診断のためのMRI及びCTや脳波計など設置している。なお、各種の生化学検査や心理検査も充実し、それらは診断や治療のための補助になっている。

基本理念として「こころの健康を守り気軽に利用できる住民とともにある病院」をめざし、医師、看護師、薬剤師、精神保健福祉士、作業療法士、公認心理師、介護福祉士など多職種チームで、こころ病む患者のリハビリをめざし、その回復と自己実現に取り組んでいる。

研究活動としては、東京都健康長寿医療センター研究所（岡村毅精神科医師、宇良千秋心理研究員）と川室記念病院と共同で（医）農福の稲作ケアプログラム研究（農水省の研究補助事業）を行っている。

当院は初期研修の協力病院である。そしてコメディカルの実習生については、看護師は新潟県立看護大学、公認心理師は上越教育大学と新潟青陵大学、精神保健福祉士は新潟青陵大学より受け入れられている。

当法人を含む関連5法人「和・道」医療福祉グループでは、互いに連携協力し合い、年1回上越「和・道」医療福祉グループ学会などを開催し、職員の自己研鑽の場となり、関連グループ内の学究的研修の場にもなっている。

・当院併設事業・5法人関連事業

併設事業には、診療所2か所（糸魚川診療所、こころのクリニック・上越妙高診療所）、訪問看護ステーションキャッスル高田、グループホーム道芝荘（障害者、認知症）、生活訓練・宿泊型自立訓練施設ハウス道芝、ショートステイお堀ばた、地域密着型通所介護かがやきハウス、新潟県指定認知症疾患医療センターがある。

関連連携施設事業としては、特別養護老人ホーム（2ヶ所）、老人保健施設、認知症対応型グル

ープホーム（4ヶ所）、生活・就労支援事業所（上越つくしの里医療福祉協会）などがあり、それらとは「和・道」医療福祉グループとして密なる連携を持っている。以上の施設においても、研修が可能である。

45. 施設名：関東中央病院
- ・施設形態：公的総合病院
 - ・院長名：小池 和彦
 - ・指導責任者氏名：山岸 正典
 - ・指導医人数：(2) 人
 - ・精神科病床数：(0) 床
 - ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	97	0
F1	14	0
F2	69	0
F3	121	0
F4 F50	193	0
F4 F7 F8 F9 F50	113	0
F6	8	0
その他	15	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

公立学校共済組合関東中央病院は東京都西南部に位置する地域医療支援病院である。精神科は総合病院精神科としてリエゾン診療に携わっている他、認知症ケアチーム、緩和ケアチームに参加している。外来に関しては成人の一般外来に加え、児童思春期患者を対象とした専門外来を行っていることが特色である。児童思春期専門外来は主に小学校高学年～中高生が対象であり、子どものころ専門医機構認定指導医のもと多面的な精神医学的評価について経験することが出来る。精神科医師は常勤医2名のみで病床を有さない総合病院精神科であり、急性期の病状や救急対応を要する患者の対応はトリアージ機能に限られるものの、リエゾン診療とともに児童思春期精神科医療に触れることが出来るユニークな環境である。限られたリソースの中、日々運営の工夫を試みており、こうした点についても理解を深めることが出来る。教育面では月2回の輪読会、月1回の英文抄読会を行っている他、学術集会への参加も可能である。

46. 施設名：医療法人恵愛会 大島病院
- ・施設形態：私立単科病院
 - ・院長名：山 田 治（やまだ おさむ）
 - ・指導責任者氏名：山 田 治（やまだ おさむ）
 - ・指導医数：（2）人
 - ・精神科病床数：（240）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	97	0
F1	14	0
F2	69	0
F3	121	0
F4 F50	193	0
F4 F7 F8 F9 F50	113	0
F6	8	0
その他	15	0

施設としての特徴(扱う疾患の特徴等)

当院は、昭和 39 年に新潟県の中央部（県央地域）である三条市に創設された精神科単科病院である。県央地域には唯一入院設備のある精神科病院として、行政やクリニックと連携を図り、地域に開かれた精神科医療を担うことを目指している。

病床数は 240 床で、精神一般病棟 60 床、精神療養病棟 120 床（2 単位）、認知症治療病棟 60 床の 4 つの病棟を有している。外来では訪問看護やデイケア、作業療法を実践しており、地域で暮らす当事者が安定して生活できるように支援している。病院に隣接する形で自立支援（生活訓練）事業所とグループホームを有しており、長期療養者の退院支援にも力を入れている。

現在、当院は、田宮病院(長岡市)の関連病院として、運営改喜の途上にあり、研修病院としても、同院の研修プログラムに準じた内容を準備している。

47. 施設名：静岡てんかん・神経医療センター

- ・施設形態：公的病院
- ・院長名：今井 克美
- ・指導責任者氏名：西田 拓司
- ・指導医人数：(1) 人
- ・精神科病床数：(0) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	496	116
F1	0	1
F2	79	46
F3	40	23
F4 F50	22	21
F7 F8 F9	175	102
F6	306	112
その他(G40)	3,655	452

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

てんかん専門病院（てんかん診療拠点機関）として、全国から難治なてんかん患者が多数集まる（てんかん病床 196 床）。てんかんの診断に必要な、脳波検査、神経画像検査、血中濃度を含む血液検査、神経心理検査などさまざまな検査を実施しており、てんかんの国際分類に沿った適切なたんかん診断を行っている。薬物治療、外科治療、食事療法などてんかん特有の治療法を習得できる。てんかんに伴う精神症状は多彩で、それらに対する診断、薬物治療、リハビリテーションを、小児期から老年期まで、積極的に行っている。ただし、精神科病床はなく、一般病床での診療となる。

静岡市の認知症疾患医療センターとして、認知症の診断・治療、周辺症状への対応、地域連携の推進、研修・啓発、情報発信を行っている。

48. 施設名：大原神経科病院
- ・施設形態：精神科病院
 - ・院長名：大原 總一郎
 - ・指導責任者氏名：石井 竜介
 - ・指導医人数：(1) 人
 - ・精神科病床数：(246) 床
 - ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	70	14
F1	8	3
F2	696	142
F3	392	17
F4 F50	429	2
F4 F7 F8 F9 F50	2	0
F6	7	1
その他	138	17

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は戦後の黎明期、昭和29年に開設。精神疾患の治療法がまだ確立していない時代でしたが、その中で入院だけに限定するのではなく、生活面、職業面でのリハビリテーションを模索してきました。昭和30年代から40年代にかけて共同住居の設置、職親制度を利用した就労、家族会の設置などを行ってきました。

現在も新患の予約制を取らずに、常時対応することで地域医療に徹しています。また、神経症・統合失調症・双極性障害・認知症・思春期まで幅広い症例の治療を行っています。

49. 施設名：山本病院

- ・施設形態：精神科病院
- ・院長名：山本 隆正
- ・指導責任者氏名：山本 隆正
- ・指導医人数：(4) 人
- ・精神科病床数：(234) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	3 6	1 0
F1	7 7	1 9
F2	7 0 7	2 7 3
F3	4 8 6	6 3
F4 F50	3 3 6	2 9
F4 F7 F8 F9 F50	1 5 4	2 2
F6	6	3
その他	1 4 6	4

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

統合失調症やうつ病、双極性障害などの精神病性障害をはじめ、神経症圏やアルコール関連疾患、認知症疾患など多彩な疾患を扱っています。近年、児童・思春期症例の外来、入院治療も増えています。58床の精神科急性期治療病棟を中心とした入院医療では、個別看護を重視したチーム医療を行っています。また、定員150名のデイナイトケアでの地域包括ケアが特色で、精神科の入院から地域医療まで幅広く研修することができます。就労、復職、修学支援などにも力を入れています。地域の障害者施設の嘱託医師や行政への医師派遣なども多く、地域の精神保健や福祉の連携に努めています。

50. 施設名：日本医科大学千葉北総病院メンタルヘルス科

- ・ 施設形態： 大学病院
- ・ 院長名：別所 竜蔵
- ・ プログラム統括責任者氏名：下田 健吾
- ・ 指導責任者氏名：下田 健吾
- ・ 指導医人数（ 3 ）人
- ・ 精神科病床数：0床
- ・ 疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	420	6
F1	25	0
F2	453	4
F3	1563	42
F4 F50	1456	4
F4 F7 F8 F9 F50	180	3
F6	54	0
その他	26	0

・ 施設としての特徴

日本医科大学千葉北総病院は高度救急医療および災害医療、がん拠点医療を提供する600床の大学病院の分院であり、研修指定病院である。医療過疎地域にも該当し地域医療の一端を担う役割がある点を持つ。当施設は精神科病棟を有さず外来医療が中心であるが、一般病床による入院治療も行っている。入院症例は限定されるが中等度の気分障害が多い。そのほか、千葉県では最も早く光トポグラフィー検査の施設認定を受けたため、気分障害の外来患者数が多い。高度救命救急センターを有するため、コンサルテーション・リエゾン活動が活発であり、がん拠点病院および認知症疾患医療センターであるため緩和ケアや認知症ケアなどのチーム医療にも力を入れている。そのため今後総合病院の担うべき他科や多種職と連携した精神科医療の技法や経験を積むことができる。外来診療やコンサルテーション・コンサルテーション・リエゾンの場面で指導医から割り振られた典型的な統合失調症・気分障害・神経症性障害および認知症の再診治療にかかわり、スタッフの一員として治療計画を策定する。疑問点は指導医に直接あるいはカンファレンスの場で相談しながら、専門医になるために必要な経験や適切な判断力を身に付け自律した行動ができるようになる。心理研究生の受け入れもしている

51. 施設名：多摩中央病院

- ・施設形態：精神科単科病院
- ・院長名：中村 秀一
- ・指導責任者氏名：大森 中
- ・指導医人数：(3) 人
- ・精神科病床数：(349) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	1190	45
F1	170	5
F2	4250	190
F3	5100	185
F4 F50	340	35
F4 F7 F8 F9 F50	25	5
F6	1700	40
その他	1190	25

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

多摩中央病院は 1959 年に東京都多摩市に開設され、1967 年に日本医科大学派遣病院として認定された歴史のある病院で、①誠実な医療、②信頼される医療、③親切な医療を理念として、長年にわたり多摩地域の医療に貢献してきた。当院は、349 床の入院病床と、本院および附属クリニック（調布市）に外来部門を持ち、急性期から慢性期、プライマリから難治例まで、幅広い精神科医療ニーズに応えてきた。本プログラムでは、このような当院の特性を活かして、幅広い精神科医療が経験できる実践的な研修の提供を目指す。具体的には、一人の患者にじっくりと腰を落ち着けて関わる中、疾患について学問的に学ぶのは勿論、自らの知識・知恵を総動員して自分の頭で考えるトレーニングを重視する。患者だけではなく家族が抱える問題も受け止め、社会復帰の難しさについて実感し、さらには家族の視点、地域社会から一例一例のケースについて考える。その上でアウトリーチとして訪問診療も行い、地域社会に根ざした実臨床に即した実践的な研修を行う。院内の看護スタッフ、ケースワーカー、心理スタッフ、薬剤師、作業療法スタッフ、DC スタッフ等ばかりでなく外部の精神保健関連各機関の職員との連携も重視する。以上の精神科を中心とした入院診療、外来診療、社会復帰、地域サポートを軸とした精神科医療を経験することによって、専攻医はさまざまな精神科医療のニーズに応えることができる能力を身につけることができる。

本プログラムの研修連携施設としてはと、日本医科大学付属 4 病院、東京科学大学病院、多摩総合医療センター、浅井病院が含まれる。

日本医科大学付属病院（東京都文京区）は、高度専門医療機関であり、m-ECT やクロザピンを用いた難治性精神疾患治療も積極的に行っている。また児童思春期外来を開設しており、入院を含めた児童思春期症例を幅広く経験できる。また、コンサルテーションリエゾン活動が盛んであり、一般病床における精神科的問題への介入の他、高度救命救急センターの自殺未遂者を中心とした介入

も多数行っている。他の付属3施設、千葉北総病院（千葉県印西市）では外来診療とコンサルテーション・リエゾン診療を中心に行っており、NIRSによる診療も数多く行っている。武蔵小杉病院（川崎市）、多摩永山病院（東京都多摩市）はコンサルテーション・リエゾン診療を中心に診療を行っており、基幹施設だけでは経験できない多様な症例を経験することができる。

東京科学大学病院（東京都文京区）では十分な指導体制のもと、生理学的検査・心理検査実施による診断や治療に対する詳細な検討、m-ECT、身体合併症診療、リエゾン診療などの全般的な研修が可能である。また、司法精神医学、児童精神医学、老年精神医学に関しては、専門の研修体制を整備している。

多摩総合医療センター（東京都府中市）は、多摩地域の主要な総合病院の1つであり、精神科救急と身体合併症を主軸とする高度な精神科診療が経験できる。特に、“スーパー救急”と呼ばれる高規格高機能を謳う病棟を持ち、設備的にも人的にも集約的な医療の実践的な研修が可能である。

浅井病院（千葉県東金市）は、地域の中核的な精神科病院として長年培われてきた臨床実践的な内容のプログラムが用意されている。主要な精神疾患の患者を受け持ち、面接法、診断と治療計画、精神療法、薬物療法の基本を学ぶ。さらに、救急を含む急性期から慢性期、児童から老年期、任意入院から措置入院の他、司法精神医療、難治性精神疾患治療（m-ECT、クロザピン）など臨床を幅広く経験し、専門医にふさわしい十分な基礎を確立させることを目標とする。合併症病棟を併設しており、内科的な身体管理も内科医の指導のもとで学ぶことができる。

52. 施設名：福島県立ふくしま医療センターこころの杜

- ・施設形態：公立精神科病院
- ・院長名：橘高一
- ・プログラム統括責任者氏名：井上祐紀
- ・指導責任者氏名：橘高一
- ・指導医数：(3) 人
- ・精神科病床数：(196) 床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外 来 合 計（年 間）	入院合計（年間）
F0	91	19
F1	34	8
F2	556	177
F3	267	31
F4 F50	224	6
F4 F7 F8 F9 F50	140	23
F6	10	0
その他	0	0

・施設としての特徴

○福島県で唯一の公的単科精神科病院である。1955年11月に設立されてから65年以上の間、県南地域の中核病院として県全体の精神医療に貢献してきた歴史を有するが、このたび外来・病棟の全面改築・センター化を完了した新病院「福島県立ふくしま医療センターこころの杜」として2022年秋にリニューアルした。

○精神医療分野の政策医療の実現が当院のミッションとなるが、大きく分けて①東日本大震災・原発災害によるストレス・トラウマを受けた方々への長期的ケア、②精神疾患を有する患者さんの地域生活支援を強化すること、③精神科救急の強化及び処遇困難患者の治療体制の強化など、3つの役割を担うことが求められている。また、専攻医として従事する期間中に何らかの研究テーマを定めてもらい、研究デザインからデータ収集、統計解析から論文執筆まで上級医のスーパーバイズを受けながら専攻医期間中に学会発表や論文の投稿を目指す。当院の目指すPhysician Scientistの育成は本プログラムの重要な要素となっている。基本的な症例研究から社会精神医学的研究、神経生理学的手法（NIRS, ERP等）を用いた研究など、多様な分野の研究を支援できる環境にある。

○東日本大震災・原発災害からコロナ禍に至るまで我が国は当県のみならず長期的な社会的危機の中にあるが。震災時に乳幼児だった子どもは思春期を迎えつつあり、より複雑な感情・行動の問題を呈しやすくなっている。当院では児童思春期症例の治療・支援には特に力を入れており、新病院には20床の児童思春期病棟が新設された。トラウマ性障害・摂食障害・発達障害をベースとした重度の行動障害を有する子どもたちの入院治療を経験できる。

○精神科急性期治療病棟において、措置入院・応急入院等の精神運動興奮を伴う急性期患者(F0-F4)の治療を実践するとともに、難治症例におけるクロザピンをを用いた治療や修正型電気けいれん療法(m E C T)を用いたさらに積極的な生物学的な治療オプションを経験できる。

○医療観察法病棟(6床)が新病院に設置された。心神喪失または心神耗弱の状態で重大な他害行為を行った対象者への入院・通院治療を一貫して体験できる。また、各種鑑定や措置入院を積極的に受けており、司法精神医学に関する見識を深めることができる。

○デイケア(大規模)や作業療法等の精神科リハビリテーションを体験し、さらには訪問看護における地域での支援活動に参加することができ、外来のアウトリーチ部門では、市町村や保健福祉事務所と連携して、引きこもりや未受診者へ等への訪問を経験し、地域での保健・福祉活動に理解を深めることができる。

53. 施設名：新潟県立精神医療センター

- ・施設形態：公的単科精神科病院
- ・院長名：細木 俊宏
- ・指導責任者氏名：細木 俊宏
- ・指導医人数：(2) 人
- ・精神科病床数：(189) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	14	4
F1	102	29
F2	439	137
F3	216	38
F4 F50	101	13
F4 F7 F8 F9 F50	526	70
F6	14	6
その他	30	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

新潟県の公的単科精神科病院であり、46床の精神科救急病棟、40床の児童精神科病棟を有する中核的病院である。精神科相談窓口も併設されており、精神科救急症例に加え、応急入院、措置入院など幅広く症例を経験できる。また、治療抵抗性統合失調症に対するクロザピンの登録医療機関であり、習得すべき薬物療法の基礎から難治例に対する薬物療法まで一貫した研修が可能である。精神鑑定も含め司法精神医学にも取り組んでいる。児童精神科では、ADHD、自閉スペクトラム症などの発達障害、被虐待児、トラウマ関連障害など、子ども心の問題に関する症例を経験できる。

54. 施設名：川室記念病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：鳥帽子田 彰
- ・指導責任者氏名：永井 達哉
- ・指導医人数：(1) 人
- ・精神科病床数：(171) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	2 9 5	1 0 5
F1	1 6	1
F2	2 3 0	1 0 1
F3	5 0 8	3 7
F4 F50	3 0 9	1 6
F4 F7 F8 F9 F50	1 0 0	0
F6	7	1
その他		

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

川室記念病院の診療圏域は、二次医療圏を中心とした上越市・妙高市・糸魚川市全域(人口計 26 万人)である。開院 145 周年を迎える歴史のある医療機関であり、田園地帯に位置する。地域との密着が濃く、1960 年代半ばから、先駆的に精神科リハビリテーションの実践・活動を行ってきた。現在も、精神科デイケア・ショートケア、外来作業療法、心理療法、在宅訪問看護など、多種職連携で多くの精神障がい者の地域生活を支えている。上越つくしの里医療福祉協会と連携して就労支援も行っている。

超高齢化社会を見据えて、介護保険が開始される 10 年前(平成 2 年)から、認知症患者に対するデイケアを試行的にスタートさせた。認知症病棟においては、在宅や施設対応が困難な患者の治療を行い、高田西城病院認知症疾患医療センターや、介護老人福祉施設との連携により、地域生活支援を行っている。

思春期の精神疾患(発達障害を含む)の対応ニーズが高まっており、予約制で診療を行っている。精神科一般外来としては、神経症、気分障害、認知症、統合失調症などの疾患が多い。入院機能は、急性期病棟、慢性期病棟、認知症治療病棟の 3 病棟である。

法人事業として、訪問看護ステーション、障害者共同生活援助事業(グループホーム)などを併設している。現在、認知症高齢者や精神障害を持つ患者が、緑と関わることで得られる機能維持や病状改善に着目したグリーンケアホスピタル事業を農水省による補助金研究事業として展開している。また、障がい者、認知症患者のケアのため稲作ケアを精神科デイケア、作業療法、病棟活動に取り入れている。

- ・関連施設事業

関連施設事業としては、特別養護老人ホーム(2ヶ所)、老人保健施設、認知症対応型グループホーム(4ヶ所)、生活・就労支援事業所(上越つくしの里)などがある。

以上の施設においても、研修が可能である。

なお、関連病院である高田西城病院(270床)において指定医取得も可能である。

3. 研修プログラム

1) 年次到達目標

専攻医は精神科領域専門医制度の研修手帳にしたがって専門知識を習得する。研修期間中に以下の領域の知識を広く学ぶ必要がある。1.患者及び家族との面接、2.疾患概念の病態の理解、3.診断と治療計画、4.補助検査法、5.薬物・身体療法、6.精神療法、7.心理社会的療法、8.精神科救急、9.リエゾン・コンサルテーション精神医学、10.法と精神医学、11.災害精神医学、12.医の倫理、13.安全管理。各年次毎の到達目標は以下の通りである。

【到達目標】

1 年目：基幹病院または連携病院で、指導医と一緒に統合失調症、気分障害、器質性精神障害の患者を受け持ち、面接の仕方、診断と治療計画、薬物療法および精神療法の基本を学び、リエゾン精神医学を経験する。特に面接によって情報を抽出し診断に結びつけるとともに、良好な治療関係を構築し維持することを学ぶ。院内の研究会や学会で発表・討論する。

2 年目：基幹病院または連携病院で、指導医の指導を受けつつ、自立して、面接の仕方を深め、診断と治療計画の能力を充実させ、薬物療法の技法を向上させ、精神療法として認知行動療法、力動的な精神療法の基本的な考え方と技法を学ぶ。精神科救急に従事して対応の仕方を学ぶ。神経症性障害および種々の依存症患者の診断・治療を経験する。院内研究会や学会で発表・討論する。

3 年目：指導医から自立して診療できるようにする。連携病院はより幅広い選択肢の中から専攻医の志向を考慮して選択する。認知行動療法や力動的な精神療法を上級医の指導の下に実践する。心理社会的療法、精神科リハビリテーション・地域精神医療等を学ぶ。児童・思春期精神障害およびパーソナリティ障害の診断・治療を経験する。外部の学会・研究会などで積極的に症例発表する。

2) 研修カリキュラムについて

研修カリキュラムは、「専攻医研修マニュアル」（別紙）を参照。

3) 個別項目について

1. 倫理性・社会性

基幹病院において他科の専攻医とともに研修会が実施される。コンサルテーションリエゾンを通じて身体科との連携を持つことによって医師としての責任や社会性、倫理観などについても多くの先輩や他の医療スタッフからも学ぶ機会を得ることができる。

2. 学問的姿勢

専攻医は医学・医療の進歩に遅れることなく、常に研鑽自己学習をすることが求められる。すべての研修期間を通じて与えられた症例を院内の症例検討会で発表することを基本と

し、その過程で過去の類似症例を文献的に調査するなどの姿勢を心がける。その中で特に興味ある症例については、地方会等での発表や学内誌などへの投稿を進める。

3. コアコンピテンシーの習得

研究機関を通じて、1) 患者関係の構築、2) チーム医療の実践、3) 安全管理、4) 症例プレゼンテーション技術、5) 医療における社会的・組織的・倫理的側面の理解、を到達目標とし、医師としてのコアコンピテンシーの習得を目指す。さらに精神科診断面接、精神療法、精神科薬物療法、リエゾンコンサルテーションといった精神科医特有のコンピテンシーの獲得を目指す。

4. 学術活動（学会発表、論文の執筆等）

基幹病院において臨床研究、基礎研究に従事しその成果を学会や論文として発表する。

5. 自己学習

各自文献検索や参考図書を活用し、臨床活動に役立てられるよう研鑽を積んでいく。

4) ローテーションモデル（別紙1）

典型的には1年目に基幹病院である東京科学大学病院をローテートし、精神科医としての基本的な知識を身につける。2～3年目には主として公的総合病院精神科を各1年ずつローテートし、身体合併症治療、難治・急性期症例、児童症例、認知症症例、リエゾン症例を幅広く経験し、精神療法、薬物療法を主体とする治療手技、生物学的検査・心理検査などの検査手法、精神保健福祉法や社会資源についての知識と技術を深めていく。また、適宜民間病院での研修も取り入れていく。これら3年間のローテート順については、本人の希望に応じて柔軟な対応が可能である。主なローテーションパターンについて、別紙1に示す。また、連携枠に関して、以下の2つのローテーションパターンを用意する。①埼玉県済生会鴻巣病院（1.5年）→成増厚生病院（1年）→東京科学大学（0.5年）、②東京科学大学（0.5年）→みなと赤十字病院（1.5年）→広尾病院（1年）。

5) 研修の週間・年間スケジュール（別紙2）

別紙2を参照。いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

4. プログラム管理体制について

・プログラム管理委員会

- 委員長 医師：高橋 英彦
- 医師：岡田 幸之
- 医師：杉原 玄一
- 医師：竹内 崇
- 医師：治徳 大介
- 医師：高木 俊輔
- 看護師：篠原 美代
- 精神保健福祉士：金子 慈史
- 市立青梅総合医療センター：岡崎 光俊
- 大宮厚生病院：渡邊 宏治
- 恩田第二病院：佐々木 将博
- 栗田病院：竹林 裕直
- 国立精神・神経医療研究センター病院：野田 隆政
- 三楽病院：真金 薫子
- 高月病院：長瀬 幸弘
- 東京足立病院：内山 真
- 東京都健康長寿医療センター：古田 光
- 東京都保健医療公社荏原病院：成島 健二
- 東京都保健医療公社豊島病院：奥村 正紀
- 東京都立小児総合医療センター：長沢 崇
- 東京都立多摩総合医療センター：岩田 健
- 東京都立広尾病院：中野谷 貴子
- 東京都立墨東病院：三上 智子
- 東京都立松沢病院：正木 秀和
- 成増厚生病院：中村 満
- 針生ヶ丘病院：熊代 新
- 横浜市立みなと赤十字病院：京野 穂集
- 埼玉県済生会鴻巣病院：関 紳一
- 浅井病院：小澤 健
- 神奈川県立精神医療センター：小林 桜児
- 埼玉県立精神医療センター：黒木 規臣
- 栃木県立岡本台病院：天野 託
- 田宮病院：稲井 徳栄
- 初石病院：今井 径介
- 東京共済病院：吉武 和代
- 市里病院：杉山 健志

- 東日本矯正医療センター：奥村 雄介
- 横須賀共済病院：光定 博生
- 成仁病院：山口 裕介
- 藤沢病院：金子 雄二郎
- 千曲荘病院：遠藤 謙二
- 小山富士見台病院：倉持 素樹
- 東京さつきホスピタル：藤枝 誠
- 稲城台病院：永野 満
- 雲雀ヶ丘病院：熊倉 徹雄
- 船橋市立医療センター：宇田川 雅彦
- 平川病院：渡部 洋実
- 青梅成木台病院：小林 暉佳
- がん研有明病院：織壁 里名
- 相州病院：小坂 淳
- 高田西城病院：川室 優
- 関東中央病院：山岸 正典
- 大島病院：山田 治
- 静岡てんかん・神経医療センター：西田 拓司
- 大原神経科病院：石井 竜介
- 山本病院：山本 隆正
- 日本医科大学千葉北総病院：下田 健吾
- 多摩中央病院：大森 中
- 福島県立ふくしま医療センター：井上 祐紀

- ・プログラム統括責任者

高橋英彦

- ・連携施設における委員会組織

研修プログラム連携施設担当者と専門研修指導医で委員会を組織し、個々の専攻医の研修状況について管理・改善を行う。

5. 評価について

1) 評価体制

- 東京科学大学病院：高橋 英彦
- 市立青梅総合医療センター：岡崎 光俊
- 大宮厚生病院：渡邊 宏治
- 恩田第二病院：佐々木 将博
- 栗田病院：竹林 裕直
- 国立精神・神経医療研究センター病院：野田 隆政
- 三楽病院：真金 薫子
- 高月病院：長瀬 幸弘
- 東京足立病院：内山 真
- 東京都健康長寿医療センター：古田 光
- 東京都保健医療公社荏原病院：成島 健二
- 東京都保健医療公社豊島病院：奥村 正紀
- 東京都立小児総合医療センター：長沢 崇
- 東京都立多摩総合医療センター：岩田 健
- 東京都立広尾病院：中野谷 貴子
- 東京都立墨東病院：三上 智子
- 東京都立松沢病院：正木 秀和
- 成増厚生病院：中村 満
- 針生ヶ丘病院：熊代 新
- 横浜市立みなと赤十字病院：京野 穂集
- 埼玉県済生会鴻巣病院：関 紳一
- 浅井病院：小澤 健
- 神奈川県立精神医療センター：小林 桜児
- 埼玉県立精神医療センター：黒木 規臣
- 栃木県立岡本台病院：天野 託
- 田宮病院：稲井 徳栄
- 初石病院：今井 径介
- 東京共済病院：吉武 和代
- 市里病院：杉山 健志
- 東日本矯正医療センター：奥村 雄介
- 横須賀共済病院：光定 博生
- 成仁病院：山口 裕介
- 藤沢病院：金子 雄二郎
- 千曲荘病院：遠藤 謙二
- 小山富士見台病院：倉持 素樹
- 東京さつきホスピタル：藤枝 誠

- 稲城台病院：永野 満
- 雲雀ヶ丘病院：熊倉 徹雄
- 船橋市立医療センター：宇田川 雅彦
- 平川病院：渡部 洋実
- 青梅成木台病院：小林 暉佳
- がん研有明病院：織壁 里名
- 相州病院：小坂 淳
- 高田西城病院：川室 優
- 関東中央病院：山岸 正典
- 大島病院：山田 治
- 静岡てんかん・神経医療センター：西田 拓司
- 大原神経科病院：石井 竜介
- 山本病院：山本 隆正
- 日本医科大学千葉北総病院：下田 健吾
- 多摩中央病院：大森 中
- 福島県立ふくしま医療センター：井上 祐紀

2) 評価時期と評価方法

- ・ 3 か月ごとに、カリキュラムに基づいたプログラムの進行状況を専攻医と指導医が確認し、その後の研修方法を定め、研修プログラム管理委員会に提出する。
- ・ 研修目標の達成度を、当該研修施設の指導責任者と専攻医がそれぞれ 6 か月ごとに評価し、フィードバックする。
- ・ その際の専攻医の研修実績および評価には研修記録簿／システムを用いる。
- ・ 専攻医は、指導医および研修プログラムについて 6 か月ごとに評価し、内容について研修プログラム管理委員会に提出する。研修プログラム管理委員会は、その内容を指導医にフィードバックするとともに、次年度の研修プログラム改訂の参考とする。

3) 研修時に則るマニュアルについて

「研修記録簿」(別紙)に研修実績を記載し、指導医による形成的評価、フィードバックを受ける。総括的評価は精神科研修カリキュラムに則り、少なくとも年 1 回行う。

東京科学大学病院にて専攻医の研修履歴(研修施設、期間、担当した専門研修指導医)、研修実績、研修評価を保管する。

プログラム運用マニュアルは以下の専攻医研修マニュアルと指導医マニュアルを用いる。

- 専攻医研修マニュアル(別紙)
 - 指導医マニュアル(別紙)
- ・ 専攻医研修実績記録

「研修記録簿」に研修実績を記録し、一定の経験を積むごとに専攻医自身が形成的評価を行い記録する。少なくとも年に1回は形成的自己評価を行うこと。研修を修了しようとする年度末には総括的評価により評価が行われる。

・指導医による指導とフィードバックの記録

専攻医自身が自分の達成度評価を行い、指導医も形成的評価を行い記録する。少なくとも年1回は指定された研修項目を年次ごとの達成目標に従って、各分野の形成的評価を行う評価者は「劣る」、「やや劣る」の評価をつけた項目については必ず改善のためのフィードバックを行い記録し、翌年度の研修に役立たせる。

6. 全体の管理運営体制

1) 専攻医の就業環境の整備（労務管理）

各施設の労務管理基準に準拠する。

2) 専攻医の心身の健康管理

各施設の健康管理基準に準拠する。

3) プログラムの改善・改良

基幹病院の統括責任者と連携施設の指導責任者による委員会にて定期的にプログラム内容について討議し、継続的な改良を実施する。

4) F Dの計画・実施

年1回、プログラム管理委員会が主導し各施設における研修状況を評価する。

別紙1：ローテーションモデル

	専攻医1年目	専攻医2年目	専攻医3年目
Aコース	東京医科歯科大学病院	単科病院A	総合病院B
	※基幹施設 ※研修期間：6ヶ月	※研修期間：1年6か月	※研修期間：1年
Bコース	東京医科歯科大学病院	総合病院C	単科病院D
	※基幹施設 ※研修期間：6ヶ月	※研修期間：6か月	※研修期間：1年
Cコース	総合病院F	総合病院G	東京医科歯科大学病院
	※研修期間：1年6か月	※研修期間：1年	※基幹施設 ※研修期間：6ヶ月
Dコース	総合病院H	東京医科歯科大学病院	単科病院I
	※研修期間：1年	※基幹施設 ※研修期間：6ヶ月	※研修期間：1年6か月
Eコース	単科病院J		東京医科歯科大学病院
	※研修期間：2年6か月		※基幹施設 ※研修期間：6ヶ月
Fコース	単科病院K	東京医科歯科大学病院	総合病院L
	※研修期間：1年6か月	※基幹施設 ※研修期間：6ヶ月	※研修期間：1年

※施設A-Lは、専攻医の希望に応じて、本プログラムの連携施設から選択される。

具体的には以下のとおりである。

総合病院： 青梅市立総合病院、三栄病院、東京都健康長寿医療センター、都立荏原病院、都立豊島病院、都立多摩総合医療センター、都立小児総合医療センター、都立広尾病院、都立墨東病院、横浜市立みなと赤十字病院、東京共済病院、船橋市立医療センター、がん研有明病院、関東中央病院、日本医科大学千葉北総病院

単科病院： 大宮厚生病院、恩田第二病院、栗田病院、国立精神・神経医療研究センター、高月病院、東京足立病院、都立松沢病院、成増厚生病院、針生ヶ丘病院、埼玉県済生会鴻巣病院、浅井病院、神奈川県立精神医療センター、埼玉県立精神医療センター、栃木県立岡本台病院、田宮病院、初石病院、小石川東京病院、いわき開成病院、東日本矯正医療センター、成仁病院、藤沢病院、千曲荘病院、小山富士見台病院、東京さつきホスピタル、稲城台病院、霧ヶ丘病院、平川病院、青梅成木台病院、相州病院、高田西城病院、大島病院、静岡てんかん・神経医療センター、大原神経科病院、山本病院、多摩中央病院、福島県立ふくしま医療センターこころの社

別紙 2：研修施設の週間スケジュール・年間スケジュール

いずれの施設においても、就業時間が週 40 時間を超える場合は、専攻医との合意のうえで実施される。

基幹施設：東京科学大学病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	朝ミーティング 病棟業務 (リエゾン)	朝ミーティング 病棟業務 (リエゾン)	朝ミーティング 病棟業務 (リエゾン)	朝ミーティング 病棟カンファ 抄読会	朝ミーティング 病棟業務 (リエゾン)
午後	病棟業務 (リエゾン)	病棟業務 (リエゾン)	病棟業務 (リエゾン)	病棟業務 (リエゾンカン ンファ) 脳波カンファ (隔週、希望者)	病棟業務 (リエゾン)
17 時以降	説明会など (不定期)			講演会など (不定期)	

基幹施設：東京科学大学病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 1年目専攻医研修開始 2・3年目専攻医前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出
5月	教室同窓会参加
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	東京精神医学会学術集会参加（任意）
8月	
9月	日本生物学的精神医学会年会（任意）
10月	1・2・3年目専攻医研修中間報告書提出 日本臨床精神神経薬理学会年会（任意）
11月	日本総合病院精神医学会総会参加（任意） 東京精神医学会学術集会参加（任意）
12月	
1月	
2月	
3月	1・2・3年目専攻医研修報告書作成 東京精神医学会学術集会参加（任意）

連携施設① 市立青梅総合医療センター

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
0830-0845	申し送り	申し送り	申し送り	申し送り	申し送り
0900-1200	病棟業務	病棟業務 外来新患	病棟業務	外来再診	病棟業務 リエゾン新患
1300-1700	病棟業務	病棟業務	病棟業務	外来再診	病棟業務
1630-1700			第1,3週 抄読会/症例 検討		
1700-1800			第2,4週 病棟合同カン ファ	外来、リエゾ ン新患カンフ ア	
1800-		講演会など (不定期)		講演会など (不定期)	

連携施設① 市立青梅総合医療センター

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 1年目専攻医研修開始 2・3年目専攻医前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加（交代制） 教室同窓会参加（任意）
7月	東京精神医学会学術集会参加（任意）
8月	
9月	日本生物学的精神医学会年会（任意）
10月	1・2・3年目専攻医研修中間報告書提出 日本臨床精神神経薬理学会年会（任意）
11月	日本総合病院精神医学会総会参加（任意） 東京精神医学会学術集会参加（任意）
12月	
1月	
2月	
3月	1・2・3年目専攻医研修報告書作成 東京精神医学会学術集会参加（任意）

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
0855-0900	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス
0900-1200	入院診療 (9:30-10:30 回診) 外来診療	入院診療 (9:30-10:30 回診) 外来診療	入院診療 (9:30-10:30 回診) 外来診療	入院診療 (9:30-10:30 回診) 外来診療	入院診療 (9:30-10:30 回診) 外来診療
1330-1500	入院診療 外来診療 (訪問看護・ デイケア研修)	入院診療 外来診療 (訪問看護・ デイケア研修)	入院診療 外来診療 (訪問看護・ デイケア研修)	入院診療 外来診療 (訪問看護・ デイケア研修)	入院診療 外来診療 (訪問看護・ デイケア研修)
1500-1700	入院診療	入院診療	入院診療	入院診療	入院診療
1700-1800	症例検討会				医局カンファ レンス (月1回) 講義 (月2回)

※デイケア研修：月～金曜日の午後の何れかの日

※訪問看護：月～金曜日の午後の何れかの日

※就業時間が40時間/週を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。原則として、40時間/週を超えるスケジュールについては自由参加とする。

連携施設② 医療法人社団輔仁会 大宮厚生病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 1年目専攻医研修開始 地域移行推進会議・ベットコントロール委員会（第2金曜日） 医療審議会（第3金曜日）
5月	地域移行推進会議・ベットコントロール委員会（第2金曜日） 医療審議会（第3金曜日）
6月	日本精神神経学会学術総会参加 地域移行推進会議・ベットコントロール委員会（第2金曜日） 医療審議会（第3金曜日）
7月	地域移行推進会議・ベットコントロール委員会（第2金曜日） 医療審議会（第3金曜日）
8月	地域移行推進会議・ベットコントロール委員会（第2金曜日） 医療審議会（第3金曜日）
9月	地域移行推進会議・ベットコントロール委員会（第2金曜日） 医療審議会（第3金曜日）
10月	地域移行推進会議・ベットコントロール委員会（第2金曜日） 医療審議会（第3金曜日）
11月	地域移行推進会議・ベットコントロール委員会（第2金曜日） 医療審議会（第3金曜日）
12月	地域移行推進会議・ベットコントロール委員会（第2金曜日） 医療審議会（第3金曜日）
1月	地域移行推進会議・ベットコントロール委員会（第2金曜日） 医療審議会（第3金曜日）
2月	専攻医年度評価実施 地域移行推進会議・ベットコントロール委員会（第2金曜日） 医療審議会（第3金曜日）
3月	地域移行推進会議・ベットコントロール委員会（第2金曜日） 医療審議会（第3金曜日）

連携施設③ 恩田第二病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
0900-0910	朝申し送り	朝申し送り	朝申し送り	朝申し送	朝申し送り
0910-1130	病棟業務 新患予診	病棟業務 新患予診	病棟業務 新患予診	病棟業務 新患予診	外来業務
1130-1200	薬説明会	病棟業務	病棟カンファ	病棟カンファ	外来業務
1300-1500	病棟業務 アウトリーチ	病棟業務 アウトリーチ	病棟業務 アウトリーチ	教授回診 入退院カンファ	アウトリーチ
1500-1615	病院全体研修 会	病棟業務	病棟業務	ケア会議 ケース会議	病棟業務外来 カンファ
1615-1700	医局カンファ	アウトリーチ申し送 り	アウトリーチ申し送 り	脳波カンファ	アウトリーチ申し送 り

連携施設③ 恩田第二病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 2・3年目専攻医前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	千葉精神医学会学術集会参加（任意）
8月	
9月	日本生物学的精神医学会年会（任意）
10月	1・2・3年目専攻医研修中間報告書提出 日本臨床精神神経薬理学会年会（任意）
11月	日本臨床神経生理学会（任意） 日本総合病院精神医学会総会参加（任意） 東京精神医学会学術集会参加（任意）
12月	
1月	
2月	
3月	専攻医研修報告書作成 千葉精神医学会学術集会参加（任意）

連携施設④ 栗田病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
朝	申し送り 病棟回診	申し送り 病棟回診	申し送り 病棟回診	申し送り 病棟回診	申し送り 病棟回診
午前	精神科救急 当番日	初診 外来業務	病棟業務	初診 外来業務	精神科救急 当番日
午後	新患・新入院カ ンファ 症例検討会 医局会	病棟業務	病棟業務	病棟業務	精神科救急 当番日
17:00	申し送り	申し送り	申し送り	申し送り	申し送り

連携施設④ 栗田病院

年間スケジュール

4月	初任者研修 オリエンテーション
6月	日本精神神経学会
3月	総括的評価 研修プログラム評価報告書作成

連携施設⑤ 国立精神・神経医療研究センター病院

週間スケジュール（一般精神科）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	病棟多職種カンファレンス 病棟・外来診察	病棟多職種カンファレンス 病棟・外来診察	病棟多職種カンファレンス 病棟・外来診察 外来予診 部長診陪席	病棟多職種カンファレンス 病棟・外来診察 保健所等訪問診療	病棟多職種カンファレンス 病棟・外来診察
午後	病棟・外来診察 病棟ケースカンファレンス 気分障害、不安障害勉強会 てんかんカンファレンス(精神・小児神経・脳外科合同)	抄読会(12:00~13:00) 病棟・外来診察 部長甲斐伸 精神科医局症例検討会(月1回) 総合医局症例検討会(2カ月に1回) 精神医学セミナー(月1回) 臨床病理検討会(月1回) ブレインカッティング(月1回)	病棟・外来診察(病棟集団 CBT) 病棟ケースカンファレンス 統合失調症研究会(月1回)	病棟・外来診察 保健所等訪問診療 てんかんカンファレンス(精神・小児神経・脳外科合同)	病棟・外来診察 光トポ判読会 生物統計セミナー(月1回)

連携施設⑤ 国立精神・神経医療研究センター病院

週間スケジュール（医療観察法）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	病棟回診 病棟診療 (*1)	病棟回診 病棟診療 (*1)	病棟回診 病棟診療 (*1)	病棟回診 病棟・外来診療 (*1)	病棟回診 患者ミーティング
午後	医療観察法病棟 担当医師会議 治療評価会議 (*2)	病棟診療 (*1) 倫理会議（月 2 回） (*3)	病棟診療 (*1) 運営会議（月 1 回） (*4)	病棟診療 (*1) 保健所等訪問診療	病棟診療 (*1)
		医局事例検討会（月 1 回）	精神鑑定事例研究会（月 1 回）		

*1 病棟業務の内容

- ・多職種チーム会議・面接の実施（医師・看護師・作業療法士・心理士・精神保健福祉士の 5 職種による各患者の担当チームの会議・チームと患者を交えた面接）
- ・CPA 会議への参加（患者及び家族・患者の担当多職種チーム・患者の帰住先地域の支援関係者による会議）
- ・医療観察法病棟内で実施している治療プログラムへの参加（疾病教育、物質乱用防止教育、内省プログラム、SST、NEAR など）

*2 全入院患者について前週の治療経過・社会復帰調整状況・外出泊の可否などを病棟関係者全体で評価、検討する。

*3 非同意治療、身体拘束、m-ECT・クロザピン導入などの可否について、2名の外部委員とともに評価、検討する。

*4 病院幹部に対し前月の治療評価会議・入退院状況を報告し、入院継続・退院許可など裁判所への提出書類への承認を得たり、治療ステージ変更・外出泊などの可否について検討したりする。

連携施設⑤国立精神・神経医療研究センター病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 1年目専攻医研修開始 2・3年目専攻医前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加 医療観察法関連職種研修参加 司法精神医学会参加（任意）
7月	東京精神医学会学術集会参加（任意）
8月	精神医学サマーセミナー 日本うつ病学会学術集会参加（任意）
9月	1・2・3年目専攻医研修中間報告書提出
	医療観察法指定入院医療機関 机上研修 日本生物学的精神医学会年会（任意） 東京精神医学会学術集会参加（任意）
10月	日本てんかん学会学術総会参加（任意） 日本臨床精神神経薬理学会（任意）
11月	日本総合病院精神医学会総会参加（任意） 日本臨床神経学会学術総会参加(任意)
12月	医療観察法上級研修会参加
1月	
2月	
3月	1・2・3年目専攻医研修報告書作成 専攻医まとめの会 院内研究発表会 東京精神医学会学術集会参加（任意） 日本臨床精神神経薬理学会（任意）

連携施設⑥ 三楽病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
0900-1200	病棟業務 新患予診 外来業務 デイケア	病棟業務 新患予診 外来業務	病棟業務 新患予診 外来業務 ショートケア	病棟業務 新患予診 外来業務	病棟業務 新患予診 外来業務 デイケア
1300-1700	病棟ミーティング 病棟業務 リエゾン デイケア	病棟ミーティング 病棟業務 リエゾン	病棟ミーティング 病棟業務 リエゾン	病棟ミーティング 病棟業務 リエゾン	病棟ミーティング 病棟業務 リエゾン デイケア 多職種カンファ
1700 -					入退院・外来カンファ

* 希望あれば、年間3クール各31回(週3回)実施している、教職員向けリワークデイケアプログラムに参加することができる。

連携施設⑥ 三楽病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 1年目専攻医研修開始 2・3年目専攻医前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加（任意）
7月	東京精神医学会学術集会参加（任意）
8月	日本うつ病学会学術集会参加（任意）
9月	
10月	1・2・3年目専攻医研修中間報告書提出
11月	日本総合病院精神医学会総会参加（任意）
12月	
1月	
2月	
3月	1・2・3年目専攻医研修報告書作成 東京精神医学会学術集会参加（任意）

連携施設⑦ 高月病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	8：45 輪読会 病棟 or デイケア	病棟 or デイケア	9：45～ 急性期病棟回 診 病棟 or デイケア	病棟 or デイケア	病棟 or デイケア 第3金曜日 大学教授 症例検討会
	医局会 第2、4 症例検討会 第1、3				
午後	病棟	病棟	病棟 16：30～ 精神療法 輪読会	病棟	病棟 集団精神療 法（心理教育）

連携施設⑦ 高月病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	夏季休暇期間（7月～9月の間で1週間）、東京精神医学会参加
8月	夏季休暇期間（7月～9月の間で1週間）
9月	夏季休暇期間（7月～9月の間で1週間）
10月	
11月	東京精神医学会参加、日本精神科医学会参加
12月	
1月	
2月	
3月	東京精神医学会参加、集団精神療法学会参加

連携施設⑧ 東京足立病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
0830-0900	朝ミーティング	朝ミーティング	朝ミーティング	朝ミーティング	朝ミーティング	朝ミーティング
0900-1200	病棟業務 外来業務 デイケア	病棟業務 外来業務 m-ECT	病棟業務 外来業務 デイケア	病棟業務 外来業務 訪問診療	病棟業務 外来業務 m-ECT	病棟業務 外来業務 デイケア
1230-1330		症例カンファ 勉強会				
1330-1715	病棟業務 外来業務 デイケア	病棟業務 外来業務 脳波クラス	病棟業務 外来業務 デイケア	病棟業務 外来業務 訪問診療	病棟業務 外来業務 院長回診	病棟業務 外来業務 デイケア
	保健所・保健総合センター相談業務（月 10 回） 総合病院リエゾン（月 1 回） 福祉施設相談業務（月 3 回） 講演会（不定期）					

連携施設⑧ 東京足立病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 1年目専攻医研修開始 2・3年目専攻医前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会（任意）
7月	東京精神医学会学術集会参加（任意）
8月	
9月	日本生物学的精神医学会年会（任意） 院内学会
10月	1・2・3年目専攻医研修中間報告書提出 日本臨床精神神経薬理学会年会（任意） 日本精神科救急学会学術総会（任意） 日本デイケア学会（任意）
11月	日本総合病院精神医学会総会参加（任意） 日本精神科医学会（任意） 東京精神医学会学術集会参加（任意）
12月	
1月	
2月	
3月	1・2・3年目専攻医研修報告書作成 東京精神医学会学術集会参加（任意）

連携施設⑨ 東京都健康長寿医療センター

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
AM	病棟実習	病棟実習	入院患者CC	緩和ケアラウンド参加	病棟実習 ECT
PM	初診外来実習 (精神科・もの忘れ外来)	初診外来実習 (精神科・もの忘れ外来)	行動制限カンファリエゾンチーム参加	病棟実習	病棟実習 外来患者CC
その他		家族会参加 神経内科との合同CC	院内勉強会 精神科症例検討会・クルズス	病院全体のCC・CPC	

連携施設⑨ 東京都健康長寿医療センター

年間スケジュール

4月	初任者研修 オリエンテーション
5月	
6月	日本老年精神医学会参加 日本精神神経学会学術総会参加 前年度研修実績報告書提出
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	日本総合病院精神医学会総会参加
12月	
1月	
2月	緩和ケア研修会
3月	総括的評価 研修プログラム評価報告書作成

連携施設⑩ 東京都保健医療公社荏原病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
0830-0900	回診	回診	回診	回診	回診
0900-1400	病棟業務 外来業務 救急業務	病棟業務 外来業務 救急業務	病棟業務 外来業務 救急業務	病棟業務 外来業務 救急業務	病棟業務 外来業務 救急業務
1400-1500	抄読会 カンファレン スと新入院患 者面接	病棟業務 外来業務 救急業務	病棟業務 外来業務 救急業務	病棟業務 外来業務 救急業務	病棟業務 外来業務 救急業務
1500-1600	リエゾンチー ム回診			脳波勉強会	
1600-1730	医局会				

連携施設⑩ 東京都保健医療公社荏原病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 1年目専攻医研修開始 2・3年目専攻医前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	東京精神医学会学術集会参加（任意）
8月	
9月	日本生物学的精神医学会年会（任意）
10月	1・2・3年目専攻医研修中間報告書提出 日本臨床精神神経薬理学会年会（任意）
11月	日本総合病院精神医学会総会参加（任意） 東京精神医学会学術集会参加（任意）
12月	
1月	
2月	2年目専攻生東京医師アカデミー研究発表
3月	1・2・3年目専攻医研修報告書作成 東京精神医学会学術集会参加（任意）

連携施設⑪ 東京都保健医療公社豊島病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30-8:45	輪読会、ミカ ファレンス	輪読会、ミカ ファレンス	輪読会、ミカ ファレンス	輪読会、ミカ ファレンス	輪読会、ミカ ファレンス
8:45-8:50	病棟申し送 り	病棟申し送 り	病棟申し送 り	病棟申し送 り	病棟申し送 り
9:00- 12:00	病棟業務 リエゾン	救急当番 病棟業務	ECT 当番 病棟業務 クラス	病棟業務	外来診察
13:30-14:00	病棟多職種ミ ーティング、行動 制限検討*	病棟多職種ミ ーティング、行動 制限検討	病棟多職種ミ ーティング、行動 制限検討	病棟多職種ミ ーティング、行動 制限検討	病棟多職種ミ ーティング、行動 制限検討
14:00-16:00	病棟業務 リエゾン	救急当番 病棟業務	病棟業務	病棟業務 行動制限最 小化委員会	外来診察
16:00-17:00	入退院カンファ レンス	病棟業務	病棟業務 緩和ケアチームミ ーティング*	病棟集団精 神療法・心理 教育	リエゾンチームカン ファレンス・回診
17:00-	抄読会など		精神科救急 当直		

連携施設⑪ 東京都保健医療公社豊島病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 1年目専攻医研修開始 2・3年目専攻医前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	東京精神医学会学術集会参加（任意）
8月	
9月	日本生物学的精神医学会年会（任意） 板橋区医師会医学会参加（任意） 集合研修（3年次）
10月	1・2・3年目専攻医研修中間報告書提出 日本臨床精神神経薬理学会年会（任意）
11月	日本総合病院精神医学会総会参加（任意） 東京精神医学会学術集会参加（任意） 災害医療研修（1年次）
12月	東京都福祉保健医療学会参加（任意）
1月	
2月	東京医師アカデミー研究発表会（2年次）
3月	1・2・3年目専攻医研修報告書作成 東京精神医学会学術集会参加（任意）

連携施設⑫ 東京都立小児総合医療センター

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	外来	外来	外来	外来	外来症例相談会
	病棟	病棟	病棟	病棟	外来/病棟
午後	外来	集団精神療法	外来	外来/病棟	クルズス
	病棟	外来/病棟	病棟	病棟カンファレンス	外来/病棟
17時以降	医局会		講座、勉強会	研究グループ活動	
	症例検討会	当直（月2～3回）			

連携施設⑫ 東京都立小児総合医療センター

年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加、日本小児精神神経学会参加
7月	日本思春期青年期精神医学会参加
8月	
9月	
10月	日本児童青年精神医学会総会参加
11月	
12月	
1月	
2月	全国児童青年精神科医療施設協議会研修会参加
3月	

連携施設⑬ 東京都立多摩総合医療センター

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	申し送り 病棟回診 ECT 初診 カンファ	申し送り 病棟回診 初診 カンファ	申し送り 病棟回診 病棟 カンファ	申し送り 病棟回診 外来 カンファ	申し送り 病棟回診 リエゾン 病棟 カンファ
午後	病棟 緩和ケア	病棟	病棟	外来	集団精神療法 リエゾン 病棟
夜間	病棟カンファ 脳波カンファ				外来カンファ ケースカンファ 抄読会

上級医と共に週一の当直研修あり

2か月に一度、産婦人科との合同カンファレンスあり

希望者は緩和ケアに参加できる

抄読会は精神薬理の抄読会を行っている。他に外来通院患者のケースカンファを月に1-2回。その他にジャーナルクラブを初期研修医を中心に月に1回開催しており参加できる。

脳波カンファは外部講師(月に1-2回)

上記の表は例であり、個人ごとにスケジュールは異なる。

連携施設⑬ 東京都立多摩総合医療センター

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 1年目専攻医研修開始 2・3年目専攻医前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	
9月	
10月	日本精神科救急学会学術総会参加（任意）
11月	日本総合病院精神医学会総会参加（任意）
12月	
1月	
2月	
3月	1・2・3年目専攻医研修報告書作成

連携施設⑭ 東京都立広尾病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
0845-0900	ミーティング	ミーティング	ミーティング	ミーティング	ミーティング
0900-1200	回診、mECT 病棟 リエゾン 新患予診	回診、mECT 病棟 リエゾン 新患予診	回診、mECT 病棟 リエゾン	回診、mECT 病棟 リエゾン	回診、mECT 病棟 リエゾン 新患予診
1300-1730	病棟 リエゾン 多職種合同カ ンファレンス	病棟 リエゾン	病棟 リエゾン	病棟 リエゾン 新患予診	病棟 リエゾン レクリエーシ ョン

連携施設⑭ 東京都立広尾病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会
7月	東京精神医学会学術集会
8月	
9月	
10月	
11月	日本総合病院精神医学会総会、日本老年精神医学会 東京精神医学会学術集会
12月	
1月	
2月	
3月	東京精神医学会学術集会参加（任意）

連携施設⑮ 東京都立墨東病院

【 週間スケジュール 】 C：カンファレンス

	月	火	水	木	金
8:45-9:00	病棟申し送り 行動制限 C	病棟申し送り 行動制限 C 自殺リスク C	病棟申し送り 行動制限 C 自殺リスク C	病棟申し送り 行動制限 C	病棟申し送り 行動制限 C 自殺リスク C
9:00-	精神科救急 申し送り	精神科救急 申し送り	精神科救急 申し送り	精神科救急 申し送り	精神科救急 申し送り
9:15-	入院患者診療	入院患者診療	入院患者診療	入院患者診療	入院患者診療
12:30-13:00			クルズス 詳読会		
13:30-13:45	病棟 C 退院支援 C	病棟 C 退院支援 C	病棟 C 退院支援 C	病棟 C 退院支援 C	病棟 C 退院支援 C
14:00-15:00	リエゾン C			病棟集団療法	入退院 C 入院患者 C
16:00-17:00				医局勉強会	
17:30-8:30	精神科救急	精神科救急	精神科救急	精神科救急	精神科救急

なお、コンサルテーション・リエゾン診療は、要望に応じて休日・夜間を含め随時対応している。

連携施設⑮ 東京都立墨東病院

年間スケジュール

4月	辞令公布式（1年目専攻医） オリエンテーション（1年目専攻医） 前年度研修報告書提出（2、3年目専攻医）
5月	
6月	日本精神神経学会総会
7月	東京精神医学会
8月	
9月	東京医師アカデミー 研修講演会
10月	専攻医研修中間報告書提出
11月	東京医師アカデミー 災害医療研修 日本総合病院精神医学会 東京精神医学会
12月	
1月	
2月	東京医師アカデミー 研究発表会（2年目専攻医）
3月	専攻医研修報告書作成 東京精神医学会

連携施設⑯ 東京都立松沢病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
0830-0930	病棟ミーティング 病棟回診	病棟ミーティング 病棟回診	病棟ミーティング 病棟回診	病棟ミーティング 病棟回診	病棟ミーティング 病棟回診
0930-1200	病棟業務	外来初診	病棟業務	病棟業務	病棟業務
1200-1300					
1330-1700	病棟業務 外来カンファレンス	病棟業務	病棟業務	外来再診	病棟業務 病棟カンファレンス
	1700-1730 医局会		1600-1800 クルズス		

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 1年目専攻医研修開始 2・3年目専攻医前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	東京精神医学会学術集会参加（任意）
8月	
9月	日本生物学的精神医学会年会（任意）
10月	日本臨床精神神経薬理学会年会（任意）
11月	日本総合病院精神医学会総会参加（任意） 東京精神医学会学術集会参加（任意）
12月	
1月	
2月	2年目専攻生東京医師アカデミー研究発表
3月	1・2・3年目専攻医研修報告書作成 東京精神医学会学術集会参加（任意）

連携施設⑰ 成増厚生病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
午前	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病院外来陪席	病棟業務	
午後	クリニック 外来業務	医局会 症例検討会	病棟業務 抄読会	病棟業務	ケース カンファレンス	

○当直（月2回程度 1年次10月より）

連携施設⑰ 成増厚生病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 1年目専攻医研修開始 指導医の指導実績報告書提出
5月	
6月	日本精神神経学会総会参加 情報セキュリティ研修 行動制限研修
7月	感染研修 リスク研修
8月	
9月	1・2・3年目専攻医研修中間報告書提出
10月	防災研修
11月	翠会ヘルスケアグループ地域精神保健学会 感染研修 行動制限研修
12月	日本精神科救急学会参加（任意）
1月	リスク研修
2月	感染研修 行動制限研修
3月	1・2・3年目専攻医研修報告書作成・提出

連携施設⑱ 針生ヶ丘病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30-9:00	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ
9:00-12:00	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	外来業務*4 病棟業務
12:30-12:50	ケースカンファ レンス		ケースカンファ レンス	ケースカンファ レンス	
13:00-17:00	外来業務 ケースカンファ レンス*2	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	医療安全等研修 会	外来業務 病棟業務
16:30-17:30	医局会 症例検討会 *1				
研修会等	FPEN 等		臨床脳波判読会 *3		司法精神医学勉 強会*5

*1：隔週で医局会と症例検討会を行う

*2：急性期病棟で多職種によるケースカンファレンスを行う

*3：臨床脳波判読会は月 1 回

*4：総合病院でのリエゾンコンサルテーションを行う

*5：司法精神医学勉強会は月あるいは金に月 1 回程度

※週 40 時間超過は自由参加

連携施設⑱ 針生ヶ丘病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	
9月	
10月	院内研究発表会参加
11月	東北精神神経学会参加 精神科病院協会精神医療懇話会参加
12月	
1月	
2月	福島県精神医学会参加
3月	

連携施設⑱ 横浜市立みなと赤十字病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
0830-0900	多職種ミーティング、行動制限カンファ、入院患者紹介				
0900-1200	新患予診 病棟業務 mECT	新患予診 病棟業務	新患予診 病棟業務 mECT	回診 病棟カンファ	新患予診 病棟業務 mECT
1300-1700	病棟業務 リエゾン	病棟業務 リエゾン クルズス	病棟業務 リエゾン	病棟業務 緩和カンファ	病棟業務 リエゾン クルズス
1700-1730			勉強会(不定期)		
夜間	精神科救急		精神科救急		

連携施設⑱ 横浜市立みなと赤十字病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 1年目専攻医研修開始 2・3年目専攻医前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加（任意）
7月	
8月	
9月	
10月	1・2・3年目専攻医研修中間報告書提出
11月	日本総合病院精神医学会総会参加（任意）
12月	日本精神科救急学会総会参加（任意）
1月	
2月	
3月	1・2・3年目専攻医研修報告書作成

連携施設⑳ 埼玉県済生会鴻巣病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
0900- 1200	朝ミーティング /回診 病棟業務 新患予診	朝ミーティング 病棟業務 新患予診 救急当番	朝ミーティング 病棟業務 新患予診	朝ミーティング 病棟業務 新患予診	朝ミーティング 病棟業務 新患予診 救急当番	病棟業務 新患予診
1300- 1630	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務
1630- 1715	医局会 抄読会/ケース ンワ					
1800-				講演会など (不定期)		

月から金曜日の勤務が通常ですが、土曜日勤務に割り当てられる場合もある。

○当直（月 2～4 回程度 1 年次の開始は終業後 3～6 ヶ月してから）

連携施設⑳ 埼玉県済生会鴻巣病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 1年目専攻医研修開始 2・3年目専攻医前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出
5月	埼玉県精神神経科医会研修会
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会（任意）
7月	東京精神医学会学術集会参加（任意）
8月	
9月	埼玉県精神神経科医会研修会
10月	院内講演 医療安全研修 日本精神科救急学会学術総会（任意）
11月	院内研究発表会 東京精神医学会学術集会参加（任意）
12月	
1月	埼玉県精神神経科医会研修会
2月	医療安全研修
3月	院内講演 1・2・3年目専攻医研修報告書作成

連携施設② 浅井病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
0900-0910	病院全体ミーティング					
0930-1230	新患・代診当番（隔週交替） 予約再診当番（週2回） 訪問診療（月2回程度） 病棟業務 m-ECT					
1330-1730	午後代診当番（週1回） 病棟業務 m-ECT					
	<ul style="list-style-type: none"> ・医局会（第1火曜/16:30-17:00） ・入退院カンファレンス（毎週火曜/14:30-16:30） ・精神科救急病棟カンファレンス(2病棟/月計2回) *専攻医ごとに個別設定 ・てんかん症例カンファレンス(月1回・火曜) ・内科合同カンファレンス（不定期・火曜） ・認知症カンファレンス（不定期） 					
1730以降					CBT 勉強会 (月1回)	

※勤務曜日（原則として週5日）は希望を確認の上、設定する。

※新患・代診当番、予約再診、訪問診療等については経験により開始時期を個別設定する。

※上記各種カンファレンスの他、病棟で毎朝行われるカンファレンスにおいても症例ごとに指導医から指導を受けられる。また、専攻医からの積極的なコンサルトも推奨される。

※17:30以降の勉強会等については自由参加とする。

※休日日直・当直（月1回程度）あり。その他希望により平日当直も可能。

連携施設② 浅井病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	東京精神医学会
8月	
9月	
10月	
11月	日本精神科救急学会参加 日本精神科医学会参加 東京精神医学会
12月	
1月	
2月	研究報告会
3月	東京精神医学会 専攻医研修報告書の作成
	※上記の他、医師会が開催する「医療倫理」「感染対策」「医療安全」の各研修、および日本精神神経学会主催の「ECT講習会」「司法精神医学研修会」、その他 希望する研修、講習会等に参加可。

連携施設② 神奈川県立精神医療センター

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	<ul style="list-style-type: none"> ・m-ECT 当番 ・病棟業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・外来予診/初診 	<ul style="list-style-type: none"> ・r-TMS 補助業務 ・病棟業務 	<ul style="list-style-type: none"> 病棟業務 管理者回診 	<ul style="list-style-type: none"> m-ECT 当番 病棟業務
午後	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟業務 ・医局会 ・抄読会 ・行動制限 評価検討会議 (月 1 回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟業務 ・専攻医クルス (不定期) ・県専攻医合同 勉強会 (オンライン) (不定期) 	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟業務 ・急患対応 ・救急病棟 カンファレンス/事例 検討会 	<ul style="list-style-type: none"> 病棟業務 思春期病棟 カンファレンス 	<ul style="list-style-type: none"> 病棟業務 専攻医クルス (不定期)

連携施設② 神奈川県立精神医療センター

年間スケジュール

4月	1年次 オリエンテーション／新採用職員研修 2・3年次 前年度分の研修実績記録システム登録
5月	CVPPP（包括的暴力防止プログラム）研修
6月	日本精神神経学会学術総会（任意） 感染防止対策研修
7月	医療事故防止研修
8月	
9月	第1回研修プログラム管理委員会 日本司法精神医学会（任意）
10月	3年次 前期分の研修実績記録システム登録（連携施設） 院内研究発表会1回目 日本児童青年精神医学会（任意）
11月	
12月	院内研究発表会2回目 日本精神科救急学会（任意）
1月	医療安全フォーラム
2月	神奈川県精神医学会例会・演題発表 情報セキュリティー研修
3月	第2回研修プログラム管理委員会
その他	医療観察法院内研修会（随時） 司法鑑定研究会（随時）

連携施設②③ 埼玉県立精神医療センター

就業時間が週 40 時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施する。

共通項目

- ・ 週間計画に記載されていない時間は、病棟・外来業務を行う。
- ・ 医局会：毎週月曜日 17:00～17:30
- ・ 医局勉強会：毎週金曜日 12:00～12:30（症例検討，論文レビュー等）
- ・ 症例検討会：第一水曜日 17:30～18:30 埼玉医科大学松尾教授による

1. スーパー救急病棟を中心とした基本的研修

	月	火	水	木	金	土 日
午前			9:30～11:30 mECT	10:00～ 薬物療法 CC ^{※2}	9:30～11:30 mECT	
午後	14:00～16:00 mECT	12:30～13:00 病棟運営会議	16:00～ 新患 CC ^{※3}			

- ・ CC: カンファランス

・ 月～金 8:30～9:00 病棟申し送り，9:00～10:00 病棟科長・医長との保護室回診，13:30～14:00 病棟カンファランス

※2… スーパー救急病棟入院患者の薬物療法の評価

※3… 主にスーパー救急病棟，急性期病棟に新規入院した患者の副病院長とのカンファランス

2. 依存症病棟を中心とした研修

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土 日
午前	酒歴・薬歴発表 または小 M	外来アルコール M	入院患者のための勉強会	外来アルコール M	CST	
午後	12:30 ~ 13:00 病棟運営会議		薬物家族教室 外来 LIFE ^{※1} 16:00 ~ 動機 付け面接練習会	16:00 ~ 依存症 CC ^{※2}		

・ M: ミーティング, CST: コーピングスキルトレーニング

・ 月～金 8:30～9:00 病棟申し送り 9:00～9:15 朝の病棟患者ミーティング 13:30～14:00 病棟カンファレンス

※1… 薬物依存症再発防止プログラム

※2… 主に依存症病棟に入院した患者のカンファレンス, 動機付け面接ロールプレイ

月間スケジュール

	月	火	水	木	金	土 日
第1		AM: 病棟 LIFE ^{※1} PM: 断酒会参加 アルコール家族教室		AM: 作業療法 PM: レク	AM: 再飲酒・ 再使用予防ト レーニング	
第2	14:00 ~ 15:00 断酒会紹介	PM: レク	PM: ダルクメ ッセージ	AM: Walking PM: Walking		

				反省会		
第3		AM: 病棟 LIFE PM: 断酒会参加 アルコール家族教室 19:00~20:00 NAメッセージ	PM: 栄養指導 マックメッセージ	AM: 作業療法 PM: スマイル イベントまたは レク		
第4	14:00 ~ 15:00 AA紹介	PM: レク アルコール家族教室	PM: マックメッセージ	AM: 作業療法 PM: レク		
第5		AM: 病棟 LIFE		AM: 作業療法 PM: レク		

- ・M: ミーティング, CC: カンファランス, CST: コーピングスキルトレーニング, レク: レクレーション
- ・依存症病棟ウォーキングプログラム 月1回

3. 児童・思春期病棟を中心とした研修

	月	火	水	木	金	土 日
午前					10:00～11:30 家族教室	
午後	13:00～ 13:30 病棟運営会 議	14:00～15:30 不登校児のため の外来グループ 活動 15:30～16:00 患児によるコミ ュニケーション M (隔週)	13:30～ 14:00 病棟 CC 14:45～ 15:30 病棟 M (集団 精神療法)	13:30～14:00 病棟 CC 14:15～15:15 OT によるレ クリエーション	13:30～14:00 病棟 CC 14:45～15:45 SST 15:30～16:30 グループ活動「鉄道 友の会」 15:30～16:30 学校病棟 CC※1	
	16:00～ 16:30 農作業					

・ M: ミーティング, CC: カンファランス

・ 月～金 8:30～9:00 病棟申し送り

・ 児童思春期病棟ウォーキングプログラム 月1回, 外部講師による児童思春期症例検討会 月1回

・ ADHD の親たちへのペアレントトレーニング/10回1クール, 年2クール

※1… 児童思春期病棟に入院中で院内学級に登校している児童のカンファランス

B. 年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	埼玉県精神神経科医会学術講演会
6月	日本精神神経学会学術総会
7月	
8月	埼玉子ども心ころ臨床研修会
9月	埼玉県精神神経科医会学術講演会
10月	
11月	
12月	
1月	埼玉精神医学懇話会
2月	全国児童青年精神科医療施設協議会研修会 埼玉県精神神経科医会学術講演会
3月	総括的評価

職員全体研修（適宜開催）

医療安全，倫理，危機管理，救命救急処置，静脈血栓塞栓症予防，感染対策，精神保健福祉法の理解と実際，行動制限最小化，チームSTEPPS，危険予知トレーニング，無断離院シミュレーション等

連携施設⑭ 栃木県立岡本台病院

週間スケジュール

曜日	時間	事項
月曜	AM	病棟チーム回診、外来診療、病棟診療
	PM	多職種病棟カンファ*、病棟診療
火曜	AM	病棟チーム回診、外来診療、病棟診療
	PM	病棟診療、医局会・症例検討会・医局セミナー・ レポートカンファ
水曜	AM	病棟チーム回診、外来診療、病棟診療
	PM	病棟診療、ECT、医師カンファレンス
木曜	AM	病棟チーム回診、外来診療、病棟診療
	PM	病棟診療
金曜	AM	病棟チーム回診、外来診療、病棟診療
	PM	病棟診療、ECT

週 1 回程度、精神保健指定医と共に当直業務を行い、精神科救急の研修を行う。

*多職種病棟カンファは各病棟で曜日が異なります。

連携施設⑭ 栃木県立岡本台病院

年間スケジュール

月	事項
4月	オリエンテーション、ミニレクチャーシリーズ
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会、日本司法精神医学会大会
7月	
8月	
9月	日本神経精神薬理学会年会
10月	ミニレクチャーシリーズ（予定）、日本精神科救急学会学術総会、アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会.
11月	
12月	日本臨床薬理学会
1月	
2月	栃木県精神医学会・栃木気分障害研究会
3月	

連携施設⑳ 田宮病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	・病棟業務 または 外来業務	・病棟業務 または 外来業務	・病棟業務 または 外来業務	・病棟業務 または 外来業務	・病棟業務 または 外来業務
午後	・病棟業務	・病棟業務	・病棟業務	・病棟業務	・病棟業務
その他の業務	・医局会議	・症例検討会 ※毎週	・薬物研究会 ※月1回程度		

※他に、①精神科救急病棟における多職種カンファレンス（毎日）。

②精神療養病棟における退院支援委員会（随時）。

③原則、スケジュール内容は、すべて、08:30～17:00の勤務時間内で実施。

連携施設⑳ 田宮病院

年間スケジュール

4月	・オリエンテーション ・クルズスの実施	・指導医の指導実績報告書提出
5月		
6月	・日本精神神経学会学術総会参加	・研修プログラム管理委員会 ・指導医との面談
7月		
8月		
9月		・研修プログラム管理委員会 ・指導医との面談
10月	・新潟精神医学会参加・演題発表	
11月		
12月	・日本精神科救急学会参加	・研修プログラム管理委員会 ・指導医との面談
1月		
2月	・新潟総合病院精神医学会研究会参加	
3月	・研修プログラム評価	・研修プログラム管理委員会 ・指導医との面談 ・次年度研修計画作成 ・研修プログラム評価報告書の作成

連携施設②⑥ 初石病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	病棟患者診察	外来診察陪席	病棟患者診察	外来診察陪席	重症患者検討会 病棟患者診察
午後	医局会議 新入院検討会	病棟患者診察 クルズス 抄読会	デイケア見学	病棟患者診察	担当患者スーパー ヴィジョン

連携施設②⑥ 初石病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 各種クルズス 1年目専攻医研修開始 2・3年目専攻医前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出
6月	日本精神神経学会学術総会参加（任意） 日本老年精神医学会（任意）
7月	
9月	面談と研修の振り返り
10月	1・2・3年目専攻医研修中間報告書提出 日本臨床精神神経薬理学会年会（任意）
11月	
3月	1・2・3年目専攻医研修報告書作成 東京精神医学会学術集会参加（任意）
その他	鑑定（本鑑定，医療鑑定法，簡易鑑定）

連携施設 27 東京共済病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
始業時	申し送り ミーティング				
午前	病棟業務 ECT 救急対応	病棟業務 外来業務 救急対応	病棟業務 ECT 外来業務 救急対応	病棟業務 救急対応 認知症ケア チームカンファレンス・ラウンド	病棟業務 ECT 救急対応 緩和ケア病棟回診
午後	緩和ケア病棟カンファレンス リエゾンチームカンファレンス・ラウンド 抄読学習会	病棟業務 外来業務 救急対応	病棟カンファレンス) 外来業務 救急対応	緩和ケア病棟カンファレンス 救急対応 脳波勉強会	病棟業務
終業時	申し送り ミーティング				

連携施設 27 東京共済病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 1年目専攻医研修開始 2・3年目専攻医前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会参加（任意）
7月	東京精神医学会学術集会参加（任意）
8月	
9月	日本生物学的精神医学会年会（任意）
10月	1・2・3年目専攻医研修中間報告書提出
11月	日本総合病院精神医学会総会参加（任意） 東京精神医学会学術集会参加（任意） 共済医学会参加(任意)
12月	
1月	
2月	
3月	1・2・3年目専攻医研修報告書作成 東京精神医学会学術集会参加（任意）

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
AM8:30～ AM9:00	病棟申し送り	病棟申し送り	病棟申し送り	病棟申し送り	病棟申し送り
AM9:00～ PM12:30	外来初診 病棟診療	病棟診療	外来再診	病棟診療	病棟診療
PM12:30～ PM1:30					
PM1:30～ PM4:30	病棟診療	病棟診療 脳波検査	病棟診療	病棟診療	外来再診
PM4:30～ PM5:30	医局会（診療 会議・勉強 会・抄読会）	各種院内委員 会	症例検討会 （外来・病 棟）	個別症例指導 （ケースス ーパービジ ョン）	各種院内委員 会

【月間スケジュール】

感染症対策委員会	第1 火曜日（PM4:30～）
医療安全委員会	第2 木曜日（PM4:30～）
行動制限最小化委員会	第3 金曜日（PM4:30～）
退院支援委員会	第4 木曜日（PM4:30～）
更生施設往診	第4 木曜日（PM2:00～）

連携施設 28 医療法人博文会 市里病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年医学会参加（任意）
7月	
8月	日本うつ病学会参加（任意）
9月	日本生物学的精神医学会参加（任意）
10月	東北精神神経学会総会参加
11月	日本臨床神経精神薬理学会参加（任意）
12月	日本認知症学会学術集会（任意）
1月	
2月	
3月	

連携施設 29 東日本矯正医療センター

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
08:30-12:15	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
13:00-16:00	病棟業務 作業療法 病棟カンファ	病棟業務 作業療法 集団療法	病棟業務 作業療法	病棟業務 作業療法	病棟業務 作業療法 集団療法
16:00-17:00	医局会	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務

連携施設 29 東日本矯正医療センター

年間スケジュール

4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	管内医療対策協議会（管内矯正施設医師等による協議会）
10月	日本矯正医学会参加（任意）
11月	
12月	
1月	
2月	刑事施設の医療に関する協議会開催
3月	

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
0830-0900	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診
0900-1200	病棟業務	リエゾン・コン サルテーション	病棟業務 新患予診	リエゾン・コン サルテーション	病棟業務 新患予診
1300-1700	病棟業務 病棟カンファレ ンス	病棟業務 リエゾン・コン サルテーション 認知症ケアチー ムカンファレン ス	外来陪席 緩和ケアチーム カンファレンス 病棟業務	病棟業務 リエゾン・コン サルテーション	病棟業務 リエゾンカンフ アレンス
1700-1730	勉強会・抄読会				新患カンファレ ンス

- ・当直は無いが土曜・日曜に月 1, 2 回日直での勤務がある。

年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	
9月	日本認知・行動療法学会参加（任意）
10月	
11月	日本総合病院精神医学会総会参加（任意） 日本認知症学会参加（任意）
12月	
1月	
2月	
3月	専攻医研修報告書作成

連携施設 31 医療法人社団 成仁病院

週間スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	外来予診	救急診療	外来陪席 (再診)	外来陪席 (初診)	救急診療 訪問診療
午後	病棟業務 m-ECT	外来陪席 (再診)	病棟業務 m-ECT	医局会 回診 多職種連携会議	病棟業務 m-ECT 訪問診療
17 時以降			症例検討会		当直 (月 2 回)

※いずれの施設においても、就業時間が 40 時間/週を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

原則として、40 時間/週を超えるスケジュールについては自由参加とする。

連携施設 31 医療法人社団 成仁病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション、座学、外来・入院陪席 指導医とともに入院患者受け持ち
5月	外来・入院陪席、予診 副当直に入る
6月	外来・入院・救急陪席、予診（統合失調症、気分障害、器質性精神障害の症例を経験） 日本精神神経学会学術総会参加
7月	外来・入院・救急陪席、予診（多彩な症例に陪席し面接技法を学ぶ） m-ECTを学ぶ
8月	外来・入院・救急陪席、予診（診断と治療を学ぶ）
9月	外来・入院・救急陪席、予診（薬物療法・精神療法を学ぶ） 指導医とともに受け持ち患者の退院後外来の主治医となる
10月	日本精神科医学学術大会参加 東京都精神科病院協会学会参加
11月	指導医の指導のもと外来初診の診察
12月	日本精神科救急学会学術総会参加
1月	訪問診療陪席
2月	足立区医学会参加
3月	指導医の指導のもと症例レポート作成

その他、院内の医療安全対策委員会、感染症対策委員会、医療保護入院者退院支援委員会等に出席

週間スケジュール (例) 勤務曜日が月、火、水、金、土の場合

	月	火	水	金	土
午前	病棟申し送り 病棟業務 外来初診	病棟申し送り 病棟業務	病棟申し送り 病棟業務 外来再診	病棟申し送り 病棟業務	病棟申し送り 病棟業務
午後	病棟業務 急患対応	病棟業務 急患対応 病棟カンファ	病棟業務 急患対応	病棟業務 急患対応 医局会 症例検討会	病棟業務 急患対応

- ・当直業務が週1回程度ある。
- ・地域の勉強会や院内研修にも適宜参加する予定。
- ・訪問サービス、デイケアなどの実習も可能。
- ・院内の委員会に担当者としての参加がある。

年間スケジュール

4月	専門医研修開始 オリエンテーション・診療グループ紹介 院内研修・症例検討会
5月	院内研修・症例検討会
6月	日本精神神経学会学術総会（任意・時期は変更あり） 院内研修・症例検討会
7月	院内研修・症例検討会
8月	院内研修・症例検討会
9月	院内研修・症例検討会
10月	院内研修・症例検討会
11月	院内研修・症例検討会
12月	院内研修・症例検討会 院内研究発表
1月	院内研修・症例検討会
2月	神奈川県精神医学会例会（任意） 院内研修・症例検討会
3月	専攻医研修報告書 院内研修・症例検討会

* 院内研修が年間を通じて毎月複数回開催される。医局講師として担当することもある。

* 該当時は精神保健指定医の講習会参加がある。

連携施設 33 千曲荘病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:10 ～ 9:00	ミーティング	ミーティング	ミーティング	ミーティング	ミーティング
9:00 ～ 12:00	外来	外来	外来	外来	外来
13:00 ～ 17:10	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
16:00 ～ 17:10			医局会議 症例検討会		

年間スケジュール

4月	初任者研修 オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会参加 前年度研修実績報告書提出
7月	東信地区精神科懇話会参加
8月	
9月	
10月	信州精神神経学会参加
11月	長野県東信地区精神科治療研究会参加
12月	
1月	
2月	
3月	長野県東信地区精神科治療研究会参加 総括的評価 研修プログラム評価報告書作成

院内・院外研修

1. 院内研修

医局症例検討会（毎週1回）

2. 院外研修

日本精神神経学会など主な精神科領域学会や講習会への積極的参加を促している。

連携施設 34 小山富士見台病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30 - 9:00	モーニング カンファレンス		モーニング カンファレンス		モーニング カンファレンス
9:00 - 12:00	病棟	外来	病棟	外来	病棟
13:00 - 16:00	デイケア	アウトリーチ	デイケア	アウトリーチ	デイケア
16:00 - 17:00	入退院カンファ レンス				症例検討会
18:00 - 19:00				精神病理学 研究会	

連携施設 34 小山富士見台病院

年間スケジュール

4月	新人オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	日本うつ病学会参加（任意） 日本病跡学会（任意）
8月	
9月	日本音楽療法学会学術大会参加（任意）
10月	日本精神病理学会参加（任意）
11月	日本芸術療法学会参加（任意） 日本総合病院精神医学会参加（任意）
12月	研修プログラム委員会
1月	
2月	栃木県精神医学会参加 精神病理コロック参加（任意）
3月	研修プログラム評価報告書の作成

連携施設 35 東京さつきホスピタル

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
9:00 - 12:00	病棟	病棟	病棟	外来	病棟
13:00 - 16:00	作業療法	外来	デイケア	病棟	デイケア
16:00 - 17:00	入退院カンファレンス			入退院カンファレンス	
18:00 - 19:00					発達思春期カンファレンス

連携施設 35 東京さつきホスピタル

年間スケジュール

4月	新人オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	日本うつ病学会参加（任意）
8月	
9月	
10月	日本神経精神薬理学会参加（任意）東京精神科病院協会学会(任意)
11月	日本精神科医学会学術大会参加（任意）
12月	研修プログラム委員会
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成

連携施設 36 稲城台病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
0830-0900					
0900-1000	病棟	外来予診	病棟	外来予診	病棟
1000-1100	病棟	リエゾン	病棟	リエゾン	病棟
1100-1200	病棟	リエゾン	病棟	リエゾン	病棟
1200-1300	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
1300-1400	病棟	病棟	病棟	病棟	デイケア
1400-1500	病棟	新入院カン ファランス	病棟	病棟	デイケア
1500-1600	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟
1600-1700	病棟	病棟	病棟	病棟	スーパーヴィジョン

連携施設 36 稲城台病院

年間スケジュール

4月	新人オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	日本うつ病学会参加（任意）日本病跡学会（任意）
8月	
9月	
10月	日本精神病理学会参加（任意） 日本臨床精神神経薬理学会（任意）
11月	日本芸術療法学会参加（任意） 日本総合病院精神医学会参加（任意）
12月	研修プログラム委員会
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成

連携施設 37 雲雀ヶ丘病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30-9:00	朝カンファ レンス	朝カンファ レンス	朝カンファ レンス	朝カンファ レンス	朝カンファ レンス
9:00-12:00	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	外来業務 (発達障 害) 病棟業務	外来業務 (発達障 害) 病棟業務
13:30-17:00	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	外来業務 (発達障 害) 病棟業務	外来業務 (発達障 害) 病棟業務
17:15-18:30	医局会 症例検討会				
研修会等	福島医大精 神医学教育 を考える会				

連携施設 37 雲雀ヶ丘病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	
9月	
10月	院内研究発表会参加 認知症疾患センター協議会
11月	東北精神神経学会参加 精神科病院協会医学会参加
12月	
1月	
2月	福島県精神医学会参加
3月	研修総括 研修プログラム評価報告書作成

連携施設 38 船橋市立医療センター

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:15～	救命救急センターカンファレンスおよび救急病棟回診(精神科ケースある場合)				
9:00～	回診 【リエゾンチーム&認知症ケアチーム回診】 緩和ケアチーム回診	外来（予診・新患・再来） 病棟リエゾン診療			回診 【リエゾンチーム&認知症ケアチーム回診】
10:30～					
12:30～	昼休み				
13:30～	外来再来 病棟診療	外来（予診・新患・再来） 病棟リエゾン診療 あるいは臨床心理実習		外来（予診・新患・再来） 病棟リエゾン診療 講義	
15:30～	緩和ケアチームカンファレンス				
16:50～	ケース検討会およびスタッフミーティング「振り返り」				

※週間スケジュール内容説明

＜リエゾンチーム回診および病棟診療＞

病棟のリエゾン患者全員の主治医となり、リエゾナーズ（精神看護専門看護師）とともに毎日回診する。月曜日と金曜日には、これに指導医、臨床心理士、PSW、がん性疼痛認定看護師も加わって全棟回診を行う。

＜認知症ケアチーム回診＞

リエゾンチーム回診と同時に行う。

＜緩和ケアチーム回診＞緩和ケアチームのメンバーとして週1回の回診及びカンファレンスに加わる。

＜精神科外来＞ 外来新患は、初診、再診の主治医となる。

＜ケース検討会＞毎日のケース検討会「振り返り」では病棟のリエゾンケース検討、外来新患・再診で課題のあるケースの検討を行う。また随時、指導医とケースに関するディスカッションを行う。

＜臨床心理学実習＞心理テストの概説、体験、心理療法ケース検討など。

臨床心理士の協力のもと、各種心理査定の実験と技術習得、心理療法の見学などを行う。

＜講義＞

空き時間や業務終了後に、指導医によりシリーズを組んで臨床的テーマの講義を受ける。

講義の主なテーマ

- ①臨床精神薬理学概論、②精神疾患各論、③精神科薬物療法、④精神科救急、⑤自殺予防、⑥リエゾン・
コンサルテーション、⑦緩和ケア、⑧その他

連携施設 38 船橋市立医療センター

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 千葉総合病院精神医学研究会参加
6月	日本精神神経学会総会参加
7月	リエゾンセンター主催「心の勉強会」参加 緩和ケア研修会参加
9月	日本自殺予防学会学術集会参加
10月	日本サイコオンコロジー学会総会に参加
11月	日本総合病院精神医学会学術総会参加
2月	院内研究発表会参加
3月	日本社会精神医学会参加（任意） 総括的評価 研修プログラム評価報告書作成

連携施設 39 医療法人社団光生会 平川病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
8:40～ 12:00	院長回診 ETC	病棟業務	病棟業務	病棟業務 ETC	病棟業務	
12:00～ 13:30	抄読会	医局会(月 1回)教授 カンファ (月1 回)				
13:30～ 14:00	研修会 ※月数回	統合失調 症家族教 室	発達障害 外来	認知症外 来	病棟業務	
14:00～ 17:00	病棟業務 病棟カンファ レンス	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	

年間スケジュール

4月	新入オリエンテーション(全職種) 新人医局員・研修医オリエンテーション 院内講習会
5月	BLS講習会(Basic Life Support)
6月	日本精神神経学術総会参加 老年精神医学等参加(任意) 院内研修会
7月	院内研修会
8月	院内研修会
9月	院内研修会
10月	面接評価 院内研修会
11月	院内研修会
12月	院内研修会
1月	院内研修会
2月	認知症かかりつけ医研修会(任意) 院内研修会
3月	院長面談 院内研修会

※それぞれの専門分野に応じて学会参加、発表等。初期研修医受入(年5~10組程度)

連携施設 40 青梅成木台病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
0900-0 930	申し送り	申し送り	申し送り	申し送り	申し送り
0930-1 200	入院診療	入院診療	入院診療	入院診療	入院診療
	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療
1300-1 700	入院診療	入院診療	入院診療	入院診療	入院診療
	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療
1630-1 700					
1700-1 800					
1800-		説明会など		講演会など	
		(不定期)		(不定期)	
1230-1 300					医局会
					医局カンファ
1300-1 330					

連携施設 40 青梅成木台病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 1年目専攻医研修開始 2・3年目専攻医前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加（交代制） 教室同窓会参加（任意）
7月	東京精神医学会学術集会参加（任意）
8月	
9月	日本生物学的精神医学会年会（任意）
10月	1・2・3年目専攻医研修中間報告書提出 日本臨床精神神経薬理学会総会参加（任意）
11月	日本総合病院精神医学会総会参加（任意） 東京精神医学会学術集会参加（任意）
12月	
1月	
2月	
3月	1・2・3年目専攻医研修報告書作成 東京精神医学会学術集会参加（任意）

連携施設 41 がん研有明病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
08:30- 09:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
09:00- 12:00	病棟業務	病棟業務 リエゾン・認知 症チーム回診	病棟業務	合同ミーティング* (緩和ケアチーム) 病棟業務	新患カンファレンス リエゾン・認知症 チーム回診
13:00- 17:15	外来予診 病棟業務 病棟カンファレンス	外来予診 病棟業務 病棟カンファレンス	外来予診 病棟業務 病棟カンファレンス	外来予診 病棟業務 病棟カンファレンス	外来予診 病棟業務 病棟カンファレンス
18:30- 19:30				多地点症例 検討会 (不定期)	

連携施設 41 がん研有明病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 指導医の指導実績報告書提出
5月	
6月	日本緩和医療学会学術大会・日本サイコオンコロジー学会総会合同学会参加 日本精神神経学会学術総会参加
7月	東京サイコオンコロジーネットワーク参加
8月	
9月	国際サイコオンコロジー学会参加
10月	
11月	日本総合病院精神医学会総会参加
12月	
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
9:00~ 12:00	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務
13:00~ 17:00	病棟業務 急性期病棟カ ンファレンス 医局会	病棟業務	病棟業務 急性期病棟カ ンファレンス	病棟業務	病棟業務

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 研修開始 指導医の指導実績報告書の提出
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加 (任意)
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	専攻医研修報告書の作成 研修プログラム評価報告書の作成

連携施設 43 高田西城病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
0830-0845					
0845-0855 0855-0900	朝部署代表ミーティング ドクターズミーティング	朝部署代表ミーティング ドクターズミーティング	朝部署代表ミーティング ドクターズミーティング	朝部署代表ミーティング ドクターズミーティング	朝部署代表ミーティング ドクターズミーティング
0900-1215	病棟診療業務 一般外来診療 (うつ病・統合失調症など)	病棟診療業務 作業療法 精神科ケア・ショートケア 発達障害外来	病棟診療業務 一般外来診療 (うつ病・統合失調症など)	病棟診療業務 認知症生活機能訓練(回想法を含む)	病棟診療業務 発達障害外来 (第一・第三)精神科ケア・ショートケア
1300-1715	病棟診療業務 もの忘れ外来 地域移行ケア会議(曜日変更あり) 発達障害就労プログラム	病棟診療業務 発達障害プログラム(ASDなど)に参加 診療会議・医局会・運営会議(月1回)・ケースカンファレンス	病棟診療業務 認知症疾患医療センターへの関わり(年12回)	病棟診療業務 地域密着型通所介護への関わり 認知症疾患医療センター会議参加(多職種で月1回)	病棟診療業務 各病棟カンファレンス(多職種と共に) 脳の健康外来 特別もの忘れ外来 (月1回認知症研修会)
18:00~	上越医師会学術研修会(産業医研修会など) 精神科における様々な研修会・講演会(コロナ禍のためWebやオンラインのセミナーに参加)				

連携施設 43 高田西城病院

年間スケジュール

月	内 容	障がい者の地域生活支援のための開催行事・院内研修会等
4 月	辞令交付式（オンライン形式） オリエンテーション（コロナ病院感染予防対策説明も含む） 院内新年度の診療 医局会（第 2 火曜日）、診療会議（第 2 火曜日）、運営会議（第 3 火曜日）	健康福祉花見会（コロナのため中止） 新人歓迎会
5 月	医局会、診療会議、運営会議、新患紹介ケースカンファレンス（2 週に 1 回）・多職種チームケア会議	
6 月	医局会、診療会議、運営会議、新患紹介ケースカンファレンス（2 週に 1 回）・多職種チームケア会議、日本精神神経学会（6/12 福岡）、日本認知症ケア学会（6/18 広島）	
7 月	医局会、診療会議、運営会議、新患紹介ケースカンファレンス（2 週に 1 回）・多職種チームケア会議、東京精神医学会（7/2 東京）、新潟県精神保健福祉大会	
8 月	医局会、診療会議、運営会議、新患紹介ケースカンファレンス（2 週に 1 回）・多職種チームケア会議	
9 月	医局会、診療会議、運営会議、新患紹介ケースカンファレンス（2 週に 1 回）・多職種チームケア会議	地域の合同障害者関係行事等に参加
10 月	医局会、診療会議、運営会議、新患紹介ケースカンファレンス（2 週に 1 回）・多職種チームケア会議、日本精神科医学会（10/27～10/28 浜松）	はさ木フェスタ・マラソン（コロナのため中止）
11 月	医局会、診療会議、運営会議、新患紹介ケースカンファレンス（2 週に 1 回）・多職種チームケア会議、日本老年精神医学会（11/25～11/27 東京）、日本発達障害支援学会（場所未定）、新潟精神医学会（日時未定）	チャリティーつくしツリー、創立 103 周年記念式典（11 月 28 日）、つくしんぼ音楽会
12 月	医局会、診療会議、運営会議、新患紹介ケースカンファレンス（2 週に 1 回）・多職種チームケア会議、 研修会「院内コロナ感染症対策について」	
1 月	医局会、診療会議、運営会議、新患紹介ケースカンファレンス（2 週に 1 回）・多職種チームケア会議、 研修会「院内医療安全について」	
2 月	医局会、診療会議、運営会議、新患紹介ケースカンファレンス（2 週に 1 回）・多職種チームケア会議、	

	上越「和・道」医療福祉グループ学会（2/24）	
3月	医局会、診療会議、運営会議、新患紹介ケースカンファレンス（2週に1回）・多職種チームケア会議、研修会「院内暴力対策について」	ココロのバリアフリーミーティング（オーレンプラザ）

※令和2年から令和4年にかけて、新型コロナウイルス感染症のため、医局の研修会は資料の通りのWeb講演会等のセミナーを活用

※主たる学会参加は積極的に参加をすすめたい。

連携施設 44 公立学校共済組合 関東中央病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
0845-0900	朝ミーティング*	朝ミーティング*	朝ミーティング*	朝ミーティング*	朝ミーティング*
0900-1200	リエゾン	リエゾン	新患予診 リエゾン	リエゾン	新患予診 リエゾン
1300-1330				勉強会	
1330-1400	昼ミーティング*	昼ミーティング*	昼ミーティング*		昼ミーティング*
1400-1715	病棟業務 緩和ケアラウ ンド	病棟業務 リエゾン	病棟業務 リエゾン	病棟業務 リエゾン	病棟業務 認知症ケアラ ウンド

連携施設 44 公立学校共済組合 関東中央病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加（任意）
7月	日本思春期青年期精神医学会大会（任意）
8月	
9月	
10月	
11月	日本児童青年精神医学会総会参加（任意）
12月	
1月	
2月	
3月	

連携施設 45 医療法人恵愛会 大島病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務
		デイケア業務			
午後	病棟業務	病棟業務	病棟業務	総合勉強会	病棟業務
		症例検討		入退院カンファレンス	

連携施設 45 医療法人恵愛会 大島病院

年間スケジュール

	年間スケジュール
4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	
9月	
10月	新潟精神医学学会参加
11月	
12月	
1月	
2月	新潟総合病院精神医学会研究会参加
3月	研修プログラムの評価

連携施設 46 静岡てんかん・神経医療センター

週間スケジュール

曜日	時間	事項
月曜	朝 午前 午後 夕方	勉強会 初診外来予診、病棟業務 初診外来、病棟業務 脳波勉強会
火曜	朝 午前 午後 夕方	症例検討会 初診外来予診、病棟業務 初診外来、病棟業務 てんかん外科カンファレンス
水曜	朝 午前 午後 夕方	抄読会 初診外来予診、病棟業務 初診外来、病棟業務 クリニカルカンファレンス
木曜	朝 午前 午後 夕方	抄読会 初診外来予診、病棟業務 初診外来、病棟業務 病棟カンファランス
金曜	朝 午前 午後 夕方	症例検討会 初診外来予診 病棟業務 脳波ビデオカンファレンス

連携施設 46 静岡てんかん・神経医療センター

年間スケジュール

4月	オリエンテーション
	1年目専攻医研修開始
	2・3年目専攻医前年研修報告書提出
	指導医の指導実績報告書提出
5月	てんかんリハビリテーション研究会参加
6月	日本精神神経学会総会参加
	漆山てんかん懇話会参加
8月	成人てんかんセミナー参加
10月	日本てんかん学会学術集会参加・発表
	研修中間報告書提出
12月	てんかん学習プログラム MOSES トレーナー研修セミナー参加
1月	東海精神神経学会参加・発表
	てんかんリハビリテーション研究会参加
2月	全国てんかんセンター協議会総会参加
3月	1・2・3年目専攻医研修報告書作成
	てんかん啓発活動パープルデー参加

連携施設 47 大原神経科病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
午前	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	休診日	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務
午後	外来業務 病棟業務 16:00:新患カ ンファ/ケース カンファ (不 定期)	外来業務 病棟業務	休診日	外来業務 病棟業務 CT 等画像読 影会 (不定期) 抄読会 (月 1 回)	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務

連携施設 47 大原神経科病院

年間スケジュール

大原神経科病院（学会参加は任意です）

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会（任意）
7月	日本うつ病学会（任意） Tsukuba Academy of Psychiatry
8月	
9月	日本神経精神薬理学会（任意） 日本臨床精神神経薬理学会学術集会(任意)
10月	アルコール・薬物依存関連学会（任意）
11月	日本認知症学会（任意） 東京精神医学会学術集会参加（任意） 茨城精神医学集団会（任意） 日本生物学的精神医学会（任意） 日本臨床精神神経薬理学会（任意）
12月	
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成 東京精神医学会学術集会参加（任意）

Tsukuba Academy of Psychiatry は開催時参加（任意）

連携施設 48 山本病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
8:30-9:00						
9:00-9:15	医局会	医局会	医局会	医局会	研究、研 修	医局会
9:15- 12:00	外来(新患) 病棟業務	外来(再来)	外来(再来)	外来(再来)		病棟業務
13:00- 15:00	外来(新患) 病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務 施設往診 (月1回)		
15:00- 16:00	症例検討 会					
16:00- 17:30	個別症例 会議					

個別症例会議は、受持ち患者について、随時、退院支援会議、病棟 CC、デイケア受入れ会議が開かれる。入院患者は、急性期、慢性期合わせて 20～30 名を担当する。

連携施設 48 山本病院

年間スケジュール

4月	入職オリエンテーション（2週間各部署研修） 医療安全研修会（院内）参加 院内勉強会（毎月開催）
5月	精神科医療のレクチャー（疾病、法規、社会資源、院内システム） 院内勉強会
6月	日本精神神経学会学術総会参加、医療安全研修会（院内）参加 院内勉強会
7月	院内勉強
8月	院内勉強会
9月	院内勉強会
10月	九州精神神経学会参加・演題発表 院内勉強会
11月	医療安全研修会（院内）参加 院内勉強会
12月	大分大学医学部精神神経医学講座 同門会参加 院内勉強会
1月	院内勉強会
2月	院内勉強会
3月	院内勉強会 研修プログラム評価報告書作成

連携施設 49 日本医科大学千葉北総病院メンタルヘルス科

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
8:30-	m-ECT	病棟業務	m-ECT	外来業務	m-ECT	外来業務
12:00	外来業務 リエゾンチ ーム業務	リエゾンチ ーム業務	外来業務	リエゾンチ ーム業務	病棟業務	病棟業務 リエゾンチ ーム業務
13:00-	部長回診	病棟業務		病棟業務	病棟業務	
17:30	医局会 症例検討会 リエゾンカン ファレンス	緩和ケアチ ーム業務		認知症ケアチ ーム業務	リエゾンチ ーム業務 医局長回診 症例カンフ ァレンス	

連携施設 49 日本医科大学千葉北総病院メンタルヘルス科
年間スケジュール

スケジュール	
4月	<p>オリエンテーション 専攻医1年研修開始 2年目・3年目前年研修報告書提出 オリエンテーション後研修開始 指導医の指導実績報告提出 勉強会（コンサルテーションリエゾン分野以下 CLS 分野・精神療法・無痙攣性通電療法） 千葉総合病院精神医学研究会参加</p>
5月	<p>勉強会（精神療法・光トポグラフィ検査） 地域研究会参加・発表 院内医療安全講習会</p>
6月	<p>日本精神神経学会学術総会参加 院内医療倫理講習会 研修手帳に基づいた形成的中間評価・フィードバック</p>
7月	<p>地域研究会参加</p>
8月	<p>地域研究会参加</p>
9月	<p>地域研究会参加 日本生物学的精神医学会参加（任意）</p>
10月	<p>専攻医1年目、2年目、3年目研修中間報告書提出 勉強会（CLS 分野・精神療法・無痙攣性通電療法） 地域研究会参加</p>
11月	<p>勉強会（精神療法分野・光トポグラフィ検査） 地域研究会参加、院内医療安全講習会</p>
12月	<p>北総精神科医会参加・発表 院内医療倫理講習会 研修プログラム管理委員会開催 研修手帳に基づいた形成的中間評価・フィードバック</p>
1月	<p>地域研究会参加</p>
2月	<p>地域研究会参加・発表 院内感染症講習会</p>
3月	<p>研究会参加 専攻医1年目、2年目、3年目研修報告書 研修プログラム評価報告書の作成</p>

連携施設 50 多摩中央病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
午前	外来予診	外来陪席	病棟業務	訪問診療	外来予診	
午後	病棟業務	病棟会議	デイケア	病棟業務	作業療法	

連携施設 50 多摩中央病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	精神科医としての基本姿勢を学ぶ
6月	日本精神神経学会への参加
7月	日本うつ病学会への参加
8月	
9月	日本生物学的精神医学学会への参加
10月	
11月	
12月	研修プログラム委員会開催
1月	
2月	院内研究発表会
3月	研修プログラム書、研修プログラム評価報告書作成

連携施設 51 福島県立ふくしま医療センターこころの杜

週間計画

	月	火	水	木	金	土
午前	病棟業務	外来陪席	外来陪席	外来陪席	外来陪席	児童思春期 ショートケア (第3土曜)
午後	ベッドコント ロール会議	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	児童思春期 ショートケア (第3土曜)
	医局会 抄読会 専攻医新患 プレゼン			外来会議		
17時以降		研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	

*週40時間超過分は自由参加 *土曜日はショートケア担当者以外は休日

連携施設 51 福島県立ふくしま医療センターこころの杜

年間計画

4月	オリエンテーション・新入職員研修 前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出
5月	
6月	日本精神神経学会参加
7月	
8月	
9月	
10月	日本児童青年期精神医学会参加（任意） 東北精神神経学会参加
11月	日本小児精神神経学会参加（任意）
12月	
1月	
2月	研究報告会 福島県精神医学会参加
3月	研修プログラム評価報告書の作成

連携施設 52 新潟県立精神医療センター